

事務事業一覽表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32114	鹿島賑わい活性化事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	2
32211	東道後温泉郷春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	4
32211	松山を楽しくキャンペーン事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	5
32211	鹿島春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	7
32211	風早海まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	9
32211	松山春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	11
32211	松山まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	13
32211	松山港まつり三津浜花火大会事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	14
32212	伊予絆産業振興事業負担金事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	15
32212	鍵谷カナ楯頌功会事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	16
32212	放生園管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	17
32212	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	18
32212	松山フードツーリズム推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	20
32221	権現温泉管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	22
32221	四国のみち管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	23
32221	二之丸庭園・城山公園等管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	24
32221	渡船管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	25
32221	索道運輸管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	26
32221	索道施設維持管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	27
32221	施設等整備基金積立金	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	28
32221	松山城管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	29
32222	誘客促進・観光おもてなし事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	31
32232	クルーズ船誘致・受入推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	33
32231	観光WEBプロモーション事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	35
32232	国際観光客誘致促進事業(多言語パンフレット作成)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	37
32232	国際観光客誘致促進事業(国際観光振興機構負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	39
32232	国際観光客誘致促進事業(松山空港利用促進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	41
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	43
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	45
32232	国際観光客誘致促進事業(観光国際化研修)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	47
32232	国際観光客誘致促進事業(台湾友好交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	49
32232	国際観光客誘致促進事業(ホスタウン事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	51
32232	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	53
32233	修学旅行誘致促進事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	55
32241	広域・観光交流事業(広域観光連携推進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	57
32241	広域・観光交流事業(四国四市観光誘致促進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	59
32241	広域・観光交流事業(四国観光立県推進愛媛協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	60
32241	広域・観光交流事業(観光交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	61
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(伊予鉄坊っちゃん列車運行補助金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	63
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR西日本西遊紀行プロジェクト)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	65
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	67
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金除く)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	69
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(しまなみサイクルトレイン利用促進会議負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	71
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	73
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	75
39999	観光総務事務事業(にきたつの路日曜市開催事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	77
39999	観光総務事務事業(JR松山駅観光案内所業務)	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	79
39999	観光総務事務事業(愛媛県観光物産協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	80
39999	観光総務事務事業(日本観光振興協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	81
39999	松山市鹿島観光事業特別会計繰出金	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	82
42311	(公財)松山国際交流協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	83
42312	国際交流推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートB	85
44111	松山城復興建造物等調査・改修事業	産業経済部	観光・国際交流課	シートA	87

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558	
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	武井 昭憲
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	武井 昭憲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32114	鹿島賑わい活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約	-		
取り組みの柱	「昭和の賑わいを求めて」のテーマのもと、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域全体の活性化を図る、「松山市風早レトロタウン構想」を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	風光明媚な地域の宝として賑わいのあった鹿島の活性化を図る。また、鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	風早レトロタウン構想の策定に伴い、風早サブセンターゾーンの活性化策の1つとして事業を開始した。また、昭和31年に瀬戸内海国立公園に指定された鹿島公園を維持管理する。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	海水浴シーズンに併せ愛媛県漁連に海水浴場のサメ防護ネットの設置・撤去に係る業務を委託し、委託料を支出する。そのほか、公益財団法人松山市シルバー人材センターに北条鹿島博物館の管理業務を委託し、委託料を支出する。また、鹿島公園清掃業務委託として、有限会社セイコービルサービスへ委託料を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 23	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						8,149			24,813		21,604
決算額(B)(単位:千円)						8,107			19,792		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			8,107			19,792		21,604
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									委託料:10,808千円 工事請負費:2,658千円 負担金165千円		委託料:11,415千円 工事請負費:2,746千円 負担金165千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									R3年度から鹿島管理事業と統合		
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			42			5,021		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	鹿島の賑わいを創出するため、北条鹿島博物館展示館の運営や海水浴場にサメ防護ネットを設置した。また、鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を行った。											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など				新型コロナウイルス感染症の影響で、来島者数が減少した。一方で鹿島公園を適切に維持管理できた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響で、来島者数が減少したものの、鹿島公園の維持管理により北条地域の活性化に寄与している。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	コロナ禍での新たな賑わい創出等を検討していく必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、屋外でのレジャーが目立っており、鹿島においてもキャンプ等のアウトドアレジャーを楽しむ来島者が増加している。しかし、それに伴って、マナーの悪化や危険な行為などが見受けられるため、より安全で楽しい鹿島とするため、マナー向上も啓発する。			
R4年度の目標	来島者50,000人 コロナ禍でもレストハウスを活用し誘客を図るなど、新たな賑わいを創出していく。また、鹿島内の施設や景観を維持管理する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			鹿島の魅力をさらに高めるため、島内の施設管理や環境整備を行う。また、R3年度にオープンしたレストハウスを活用し、来島者の利便性を高め、誘客を図る。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント開催数	回	目標値	3	3	3	3	3	目標値	3	
			実績値	10	0	1			達成年度	R7	
		%	達成度	330	0	33					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	現在のイベント開催数を維持する。			
	本指標の設定理由	来島者数の増加を目指すため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	来島者数	人	目標値	51,000	50,000	50,000	50,000	50,000	目標値	50,000	
			実績値	53,444	41,100	29,792			達成年度	R7	
		%	達成度								
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	観光需要の回復を見越して、現状維持を目標とする。			
	本指標の設定理由	北条地区の交流人口を増やすため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、イベントの開催を見送った。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、渡船が運休となり、各種イベントも中止となったため、来島者数が減少した。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556		
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	的場 愛子	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556		
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主査	担当者名	主事	五藤 菜月	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	東道後温泉郷春まつり事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-	
主な取り組み	観光都市としての魅力向上					市長公約			
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	東道後温泉郷を中心に実施される春まつりの開催を支援し、市民の憩いの場を提供すると同時に、観光客の誘致及び地域の活性化を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	官民共同で東道後温泉郷を中心に開催される春まつりを通じ、市民の憩いの場を提供すると同時に、観光客の誘致及び地域の活性化を図るため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	毎年4月下旬の祝日(昭和の日)に少年剣道大会等のスポーツ大会や各種団体のバザーを実施する東道後温泉郷春祭り実行委員会に補助金を支出する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	昭和	46	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						100			100		100
決算額(B)(単位:千円)						0			0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0			0
	県支出金				0			0			0
	市債				0			0			0
	その他				0			0			0
	一般財源				0			0			100
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						開催中止のため補助金交付なし		補助金:100千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		100		100	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	例年、交流人口拡大のため各種イベントを実施する東道後温泉郷春祭り実行委員会に補助金を支出しているが、令和3年度は開催中止となったため補助金の支出はなかった。										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		R3年度は開催中止となったため、補助金の支出はなかった。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	3:貢献していない		左記の理由		魅力ある祭りに補助金を支出することで交流人口の拡大を図りたかったが、R3年度は開催中止となったため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの感染拡大					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの感染拡大防止対策			
R4年度の目標	地域の方々と連携して、観光客の誘致と地域の活性化につなげる。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		令和4年度は新型コロナウイルスの影響により中止。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	富岡 有紀子	主事	芝 澄麗
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主事	河野 梨花	主事	片坐 美乃

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	松山を楽しもうキャンペーン事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-			
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	全国的にも稀な事業展開手法として、県下主要メディア(新聞社・民間テレビ局・ラジオ局)が一体となって城山公園(堀之内)とその周辺で、毎年秋から冬にかけて集客力のあるイベントを実施することで、中心市街地の活性化を目的としている。						
背景(どのような経緯で開始したか)	人々が集い、交流を図り、楽しめる場所となる城山公園の利活用を促進する中で、地元メディアとの連携により、城山公園を利用した様々な集客イベントを展開するため事業を開始した。城山公園が市民に愛され、人が集い、交流を図る街のオアシスとなるよう、また、県内外からの観光客が訪れる本市の新たな観光資源となることを目指している。平成29年度から、季節を限定することなく事業を実施できるよう、実行委員会の名称を「松山を楽しもうキャンペーン実行委員会」に変更した。これとともない、平成30年度から事業名を「城山公園オータムフェスティバル事業」から「松山を楽しもうキャンペーン事業」へと変更。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 県内外観光客と市民、負担金交付先:松山を楽しもうキャンペーン実行委員会 【事業内容】 ①えひめ・まつやま産業まつりとの連携により実施する「えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー」 ②毎年3万人を超える子ども連れのご家族が参加する「キッズふれあいランド」 ③県警音楽隊との連携による「秋のプロムナードコンサート」 ④歌謡チャンピオン大賞 上記の事を行う松山を楽しもうキャンペーン実行委員会に負担金を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	事業の性質上、受益者負担になじまないため。			
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				6,000			24,000			23,800
決算額(B)(単位:千円)				5,055			2,005			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
	一般財源				5,055		2,005		23,800	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				松山を楽しもうキャンペーン実行委員会負担金: 2,005千円			松山を楽しもうキャンペーン実行委員会負担金: 23,800千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			945			21,995			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地元メディアと連携を図り、秋から冬にかけて集客力のあるイベントを実施することで、中心市街地の活性化を図る。 ・秋のプロムナードコンサート					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー、キッズふれあいランド、歌謡チャンピオン大賞 決勝大会が中止となった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	2:あまり貢献していない		左記の理由	感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症拡大状況によって事業実施の見直しが必要であることや、実施する場合は感染予防対策が課題となる。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		安全なイベントの開催に向け、実行委員会と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を施す。
R4年度の目標	実行委員会と連携を取り、コロナ禍においても安全なイベントの開催に取り組む。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		①えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー ②キッズふれあいランド ③秋のプロムナードコンサート ④歌謡チャンピオン大賞

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント開催数	回	目標値	7	7	7	7	7	目標値	7	
			実績値	7	1	1	1	1	達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	14	14					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方 県内メディアと連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客数を維持することにより、中心市街地の活性化を進めていくもの。		
	本指標の設定理由	県内メディアと連携しながら趣向を凝らした催しを開催し、官民一体となって中心市街地の活性化を進めていくため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	「秋のフロムナードコンサート」集客数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	目標値	2,000	
			実績値	1,700	—(中止)	800	—(中止)	—(中止)	達成年度	令和5年度	
		%	達成度	85	—(中止)	40	—(中止)	—(中止)			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方 県内メディアと連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客数を維持することにより、中心市街地の活性化を進めていくもの。		
	本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため									
	「キッズふれあいランド」集客数	人	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	目標値	30,000	
			実績値	30,000	—(中止)	—(中止)	—(中止)	—(中止)	達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	—(中止)	—(中止)	—(中止)	—(中止)			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方 県内メディアと連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客数を維持することにより、中心市街地の活性化を進めていくもの。		
	本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため									
	「えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー」集客数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	目標値	50,000	
			実績値	59,000	—(中止)	—(中止)	—(中止)	—(中止)	達成年度	令和5年度	
%		達成度	118	—(中止)	—(中止)	—(中止)	—(中止)				
指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方 県内メディアと連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客数を維持することにより、中心市街地の活性化を進めていくもの。			
本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	主事	浦田 絵微
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	鹿島春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-			
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	無し						
事業の目的(どのような状態にするか)	市内の観光関連行事として、観光客の誘致を目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	毎年5月3日・4日に開催される北条地区の伝統行事として市内外に定着しており、本市の観光関連事業として位置づけている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	5月3日:権繰りおどり、5月4日:大注連縄張替えを実施する北条鹿島まつり実行委員会に補助金を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						450			450		450
決算額(B)(単位:千円)						450			0		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			450			0		450
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								なし		補助金:450千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								中止により補助金支出なし			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0			450		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	R3年度の北条鹿島まつりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部の行事を除き中止となった。準備にかかった経費は実行委員会予算で賄うことができたため、補助金支出なし。										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	2:あまり貢献していない		左記の理由		感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	感染拡大防止対策を講じる必要がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			感染拡大防止対策を講じる。				
R4年度の目標	感染対策を徹底し、安全に祭りを催行する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			感染拡大防止のため、人が密集する行事は延期又は中止する。 ・大注連縄張替えは延期。 ・子どもだんじり,餅まきは中止。 ・鹿島の権繰りを見学する「お供船」は中止。				

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	周知メディア数	個	目標値	8	8	—	8	8	目標値	8	
			実績値	8	—	—	—	—	達成年度	R5	
		%	達成度	100	—	—	—	—			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	イベントを周知するため広報を継続する。			
	本指標の設定理由	北条地区を広報し交流人口を増やすため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	来島者数 (鹿島まつり期間中)	人	目標値	3,600	3,600	—	3,600	3,600	目標値	3,600	
			実績値	4,484	—	—	—	—	達成年度	R5	
		%	達成度	125	—	—	—	—			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	鹿島の賑わいを維持するため。			
	本指標の設定理由	鹿島の賑わいを維持するため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。									
	成果指標	感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	主事	浦田 絵微
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	風早海まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	無し					
事業の目的(どのような状態にするか)	北条地域の夏の風物詩として、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和58年から花火大会と商工夜店まつりを共催した「北条夏まつり」として行われ、平成7年からは地域住民総ぐるみで参加する北条地域最大の夏のイベントとして開催されており、地域振興を目指している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	風早海まつり(北条地区最大の花火大会)を実施する風早海まつり実行委員会に補助金を支出する。また、ワンダーランド河野氏まつりを実施する実行委員会に負担金を支出する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						700			4,250		4,250
決算額(B)(単位:千円)						280			280		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			280			280		4,250
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金:280千円		補助金:3,550千円 負担金:700千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			420			3,970		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	ワンダーランド河野氏まつりを実施するため、負担金を支出した。											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など				感染拡大防止の観点から、風早海まつりは中止となり、また、ワンダーランド河野氏まつりも縮小開催となったため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	2:あまり貢献していない		左記の理由		感染拡大防止の観点から、風早海まつりは中止となり、また、ワンダーランド河野氏まつりも縮小開催となったため。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	感染拡大防止対策を講じる必要がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				感染拡大防止対策を講じる。			
R4年度の目標	感染対策を徹底し、安全に祭りを催行する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				感染拡大防止のため、必要な措置を講じていく。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	広報媒体の活用 (広報紙、ホームページ等)	件	目標値	6	—	—	6	6	目標値	6	
			実績値	6	—	—			達成年度	R5	
		%	達成度	100	—	—					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	広報媒体(市広報や民間広報)を活用することで、観客数の増加を図るため。					最終目標値の設定の考え方		現在周知している媒体数を維持しながら、新たな広報媒体の活用も検討していく。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方			
成果指標 (3つまで設定可)	花火の観覧者数	人	目標値	48,000	—	—	48,000	48,000	目標値	48,000	
			実績値	48,000	—	—			達成年度	R5	
		%	達成度	100	—	—					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	観客数を維持するため。					最終目標値の設定の考え方		現状を維持する。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由						最終目標値の設定の考え方			
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	感染拡大防止の観点から、風早海まつりが中止となったため。									
	成果指標	感染拡大防止の観点から、風早海まつりが中止となったため。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	富岡 有紀子	主事	芝 澄麗
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主事	河野 梨花	主事	片坐 美乃

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	松山春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	春の桜の時期に、松山城と城下町(お城下)を市民をはじめ観光客に広く楽しんでいただくことを目的として実施している。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和42年に松山城小天守再建の決定を記念して開始。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民や観光客が楽しめる松山春まつり(①お城まつり、②道後温泉まつり)を開催する。 各実施主体となる実行委員会(お城まつり実行委員会、道後温泉まつり実行委員会、春まつり野球拳全国大会実行委員会、伊予節全国大会実行委員会)に対して負担金を支出する。 ①お城まつり:大名・武者行列、東雲能、野球拳全国大会等 ②道後温泉まつり:湯祈禱、長寿餅つき、BONダンス、女みこしかきくらペパレード等						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	事業の性質上、受益者負担になじまないため。			
始期・終期(年度)	昭和	42	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						9,600			21,283		21,600
決算額(B)(単位:千円)						3,803			4,275		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			3,803			4,275		21,600
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								お城まつり実行委員会負担金:2,075千円 道後温泉まつり実行委員会負担金:2,200千円		お城まつり実行委員会負担金:16,420千円 道後温泉まつり実行委員会負担金:4,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等								二之丸庭園・城山公園等管理事業へ318千円流用			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			5,797		17,008			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	東雲能は縮小開催。 道後温泉まつりは関係者のみで湯祈禱祭を開催したほか、「道後温泉まつり on Web」として伊予節や女神輿等の行事をオンラインで開催。 その他のイベント(野球拳全国大会、伊予節全国大会、市民パレード、大名・武者行列、春まつりin堀之内など)は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている状況から、野球拳全国大会、伊予節全国大会、大名・武者行列、春まつりin堀之内などは中止。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	2:あまり貢献していない	左記の理由	感染拡大防止の観点から、一部の行事を除き中止となったため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症拡大状況によって事業実施の見直しが必要であることや、実施する場合は感染予防対策が課題となる。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		安全なイベントの開催に向け、実行委員会と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を施す。	
R4年度の目標	実行委員会と連携し、コロナ禍においても安全なイベントの開催に取り組む。なお、令和4年度のお城まつりは、東雲能以外のイベントは開催中止・見送りが決定している。また、道後温泉まつりは、令和5年3月の開催に向け、内容等の詳細を今後検討する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		お城まつりについて、東雲能は規模を縮小して実施予定。野球拳全国大会、伊予節全国大会、大名・武者行列、春まつりin堀之内などについては、実行委員会と協議の上、中止・見送りが決定した。 道後温泉まつりは令和5年3月に実施を予定しているが、内容等の詳細については今後、検討していく。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント開催数【主要イベント】	回	目標値	6	6	6	6	6	目標値	6	
			実績値	6	1	2			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	17	33					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)								
		本指標の設定理由	実行委員会と連携しながら趣向を凝らした催しを開催し、官民一体となって集客促進および来場者の満足度向上を進めていくため。			最終目標値の設定の考え方	松山春まつり実行委員会など各種団体と連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客促進および来場者の満足度向上に努めるもの。				
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
成果指標 (3つまで設定可)	大名武者行列観客数	人	目標値	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	目標値	130,000	
			実績値	140,000	—(中止)	—(中止)			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	108	—(中止)	—(中止)					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)								
		本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため			最終目標値の設定の考え方	松山春まつり実行委員会など各種団体と連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客促進および来場者の満足度向上に努めるもの。				
		春まつりin堀之内観客数	人	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	目標値	30,000
			実績値	35,000	—(中止)	—(中止)			達成年度	令和5年度	
	%		達成度	117	—(中止)	—(中止)					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)								
		本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため			最終目標値の設定の考え方	松山春まつり実行委員会など各種団体と連携し現在実施している事業規模を保ちながら、集客促進および来場者の満足度向上に努めるもの。				
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主査	武井 昭恵	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主任	武井 昭恵	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	松山まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-			
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	市民の真夏の憩いを提供するとともに、観光宣伝の一翼を担い、観光客誘致に寄与することを目的に実施している。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和41年に、当時全国的にも名の知れていた、四国3県都の夏祭りに肩を並べる夏の風物詩を作ろうと、「松山おどり」としてスタートした。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山まつり実行委員会に負担金を支出し、松山まつりを開催する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合 基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山まつり実行委員会は負担金分を除く事業費を負担している。			
始期・終期(年度)	昭和	41	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						4,000			26,330		26,330
決算額(B)(単位:千円)						4,000			15,000		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			4,000			15,000		26,330
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								負担金:15,000千円		負担金:26,330千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								「野球拳おどり・野球サンバ」の演舞が中止となったため、負担金が変わった。			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		11,330			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「松山まつり実行委員会」に負担金を支出。 「野球拳おどり・野球サンバの演舞」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 「松山まつり on Web」の開催。 野球拳踊りの新たな楽曲と振付「Baseball-Dance」の制作とプロモーション。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「野球拳おどり・野球サンバの演舞」が中止となった一方、「松山まつり on Web」を開催、「Baseball-Dance」の制作とプロモーションを実施したため。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	魅力ある祭りに負担金を支出することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化に繋がっている。								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症が流行している中で新しい松山まつりの開催方法を検討する必要がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				Withコロナ時代に即した松山まつりの実施方法を松山まつり実行委員会と十分に協議を行う。		
R4年度の目標	官民共同で松山まつりを開催し、市民や地域の活力向上を促し、愛媛・松山の情報発信につなげる。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				松山まつりの開催に向けて準備を行う。また、開催ができない場合は代替イベントの開催に向けて取り組む。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	浦田 絵微	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	高橋 毅	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32211	松山港まつり三津浜花火大会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-			
取り組みの柱	観光客の誘致促進や市民のレクリエーションに寄与するよう、季節に合わせた祭やイベントを開催することにより集客を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	なし						
事業の目的(どのような状態にするか)	「四国で最大級の花火大会」を共催実施することにより、観光客の誘客とともに、地域振興を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	市民や観光客に楽しんでいただくため、昭和25年から開催している。以来、松山市の夏の風物詩となり、非常に高い集客力で交流人口の増加および地域経済の活性化につながっている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山港まつり三津浜花火大会を開催する松山港まつり振興会に負担金を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山港まつり振興会は本市からの負担金分を除く事業費を負担している。			
始期・終期(年度)	昭和	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						3,150			13,984		14,650
決算額(B)(単位:千円)						700			1,196		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			700			1,196		14,650
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金:1,197千円		負担金:14,650千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			2,450			12,788		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山港まつり三津浜花火大会を実施する松山港まつり振興会に負担金を支出する。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、開催しなかったため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催は中止となった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症拡大防止策の検討。		
R4年度の目標	官民協働で安全で魅力的な花火大会の開催していく。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、安全安心な花火大会を開催する。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	的場 愛子	主事	片坐 美乃
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主査	担当者名	主事	上村 優果		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32212	伊予絣産業振興事業負担金事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-			
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-			
主な取り組み	観光都市としての魅力向上				市長公約					
取り組みの柱	市を代表する観光スポットや伝統工芸品、俳句などの様々な地域資源を有効に活用します。									
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	伝統的地場産業である伊予絣業界の振興のために実施している。									
背景(どのような経緯で開始したか)	伊予絣は松山の地場産業として、昔から人々に親しまれてきた。一方で、時代の経過とともにその売れ行きは年々減少しており伊予絣業界が発展するためには松山市の負担金支出が必要であるため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	伊予織物工業協同組合では、伊予絣の発展のため、各種展示会、即売会を開催するほか、伝統工芸大賞に出品、無形文化財登録への取り組みなど伊予絣発展のため尽力している。これらの取り組みを行う伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費		目	商工観光費	R3予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				400		400		400	
決算額(B)(単位:千円)				400		400		400	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			400		400		400	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金:400千円		負担金:400千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	各種展示即売会見本市の開催、「21世紀えひめ伝統工芸大賞」への出品、地元小学校への指導等を実施する伊予織物工業協同組合に負担金を支出。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	引き続き、伝統工芸である伊予絣の品質向上を図るとともに、観光資源の開発宣伝に努めたため。					
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		愛媛を代表する伊予絣の振興を行うなど、組合活動の一助になっているため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標	引き続き、伊予絣の振興のため、より多くの人に伊予絣の見聞を広めてもらう。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・各種展示・即売会・見本市の開催 ・「21世紀えひめ伝統工芸大賞」への出品 ・ワークショップ開催などのかすりのPRのための事業開催 ・組合員による視察研修等を実施する伊予織物工業協同組合に負担金を支出。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	曾根 崇文	担当者名	主事	的場 愛子	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	三神 正裕	担当者名	主事	上村 優果	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32212	鍵谷カナ姫頌功会事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-				
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-				
主な取り組み	観光都市としての魅力向上				市長公約						
取り組みの柱	市を代表する観光スポットや伝統工芸品、俳句などの様々な地域資源を有効に活用します。										
総合戦略	基本目標	-				取組み					
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し								
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	伊予餅の創始者である鍵谷カナの顕彰と地域の活性化を図る。										
背景(どのような経緯で開始したか)	伊予餅は松山の伝統工芸品としてその藍染の素朴な美しさから昔より親しまれてきた。その、伊予餅の創始者である鍵谷カナを顕彰することにより人々にその重要性を再認識してもらうため。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	毎年5月28日に鍵谷祭を開催し、垣生小学校生徒による鍵谷カナを題材にした集会や、バザーや俳句教室を行う鍵谷カナ姫頌功会へ補助金を支出する。										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	昭和	46	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費		目	商工観光費	R3予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				30		30		30	
決算額(B)(単位:千円)				0		0		0	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			0		0		30	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						開催中止のため補助金交付なし		補助金:30千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		30		30	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	鍵谷カナ姫頌功会に補助金を支出。									
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		R3年度は新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	3:貢献していない		左記の理由			鍵谷カナ姫の顕彰以外にも垣生地区を挙げて地域の活性化の一助になっているが、R3年度はイベントが中止となったため。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの感染拡大				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの感染拡大防止対策			
R4年度の目標	伊予餅の創始者である鍵谷カナの顕彰にあわせ、市民に憩いの場を提供するとともに地域の活性化につなげる。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		令和4年度は新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主査	武井 昭憲
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主査	武井 昭憲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32212	放生園管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約	-			
取り組みの柱	市を代表する観光スポットや伝統工芸品、俳句などの様々な地域資源を有効に活用します。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	道後の玄関口である放生園内の樹木の保護育成、園内の清掃、施設(足湯・坊っちゃんカラクリ時計等)の管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	本市を代表する観光地であり、道後の玄関口となる放生園を適切に管理することが必要であるため。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:放生園内施設及び道後への観光客 ・道後温泉旅館協同組合に委託金を支出し、放生園内の樹木の保護育成、園内の清掃、足湯の管理等を行う。 ・株式会社ジャクエツに委託金を支出し、坊っちゃんカラクリ時計の保守点検を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	6	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	
						R2年度	R3年度			R4年度	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						4,069			7,347		6,116
決算額(B)(単位:千円)						4,251			6,846		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			4,251			6,846		6,116
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								委託料 4,256千円 使用料及び賃借料 1,477千円 光熱水費 690千円		委託料 3,014千円 使用料及び賃借料 1,997千円 光熱水費 731千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			-182		501			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	道後温泉旅館協同組合への委託により、敷地内の清掃や足湯の運営等の日常管理を行った。 株式会社ジャクエツへの委託により、坊っちゃんカラクリ時計の定期的な保守点検、調整並びに、部品の交換を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標どおり施設を管理することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	放生園を適正に管理し、観光事業の発展をはじめとする地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症拡大防止策に取り組み必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、間隔を空けての利用を呼び掛けるポスター等を掲示するとともに、感染状況を慎重に見極めながら施設運営に取り組む。		
R4年度の目標	放生園を適正に管理し、観光事業の発展をはじめ地域振興に寄与する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	道後温泉旅館協同組合への委託により、敷地内の清掃や足湯の運営等の日常管理を行う。 株式会社ジャクエツへの委託により、坊っちゃんカラクリ時計の定期的な保守点検、調整並びに、部品の交換を行う。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	栗栖 洋平	担当者名	主任 大堀 祐輝 主任 白形 舞
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6557
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢光一	リーダー名	川崎 義昭	担当者名	主任 大堀 祐輝 主事 田中 翔太郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32212	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興				主な取り組み	戦略的観光振興の推進
主な取り組み	観光都市としての魅力向上		市長公約			
取り組みの柱	市を代表する観光スポットや伝統工芸品、俳句などの様々な地域資源を有効に活用します。					
総合戦略	3222	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	② 修学旅行の誘致や国内外の観光客増加に向け、松山城や坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの観光文化施設、俳句を中心とした短詩系文学やこぼのちからなどの文化資源、正岡子規や秋山兄弟といった松山ゆかりの人物、三津浜焼きといったご当地グルメなどの地域資源など、あらゆるジャンルの観光資源の更なる有効活用を検討します。また、魅力ある誘客施設や地元が潤う仕組みの体験型観光メニュー、商品企画の研究を行います。
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)			
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等

事業の目的(どのような状態にするか)	「松山・俳句=HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、訪れた観光客に感動を与える新しい着地型旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、滞在時間の増加や交流人口の拡大を目指す。					
背景(どのような経緯で開始したか)	国内外の観光客を誘致・誘客するために、松山ならではの俳句や文学をテーマとした滞在プログラム型の旅行商品開発等に取り組むこととなった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】:国内外からの観光客 【交付先】:松山はいく運営委員会 「松山・俳句=HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、「俳句や文学」を活用した世界的俳句大会の開催や新しい着地型旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、観光交流人口の拡大を目指すため、着地型観光プログラムである有料のまち歩きガイド「松山はいく」の運営母体「松山はいく」運営委員会へ負担金を支出する。 ・吟行体験等の「俳都=松山」ならではの体験メニューを提供して、修学旅行誘致促進事業と連携 ・瀬戸内・松山写真俳句コンテストの開催 ・需要変化による新しい価値を創造したまち歩き商品等の充実・情報発信 ・連携都市・大学・新聞社・カルチャースクール、旅行会社との連携					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 21	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				19,440			18,800		15,500	
決算額(B)(単位:千円)				19,440			17,220			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
	一般財源				19,440		17,220		15,500	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							負担金 17,220		負担金 15,500	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		0			1,580			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・瀬戸内・松山写真俳句コンテストの開催 ・連携都市・大学・新聞社・カルチャースクール、旅行会社との連携 ・吟行体験等の「俳都=松山」ならではの体験メニューを開発・販売する ・修学旅行誘致促進事業と連携し、観光客の誘致・誘客に取り組む					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		松山はいく事業では、まち歩きガイド事業等を通じて、観光客に対して継続して松山の魅力を伝えることができる。国際俳句コンテストの実施等により、俳句の知名度向上を図り、国内外からの観光客の誘致・誘客に繋げている。松山ならではの俳句体験を希望する修学旅行誘致に際して、有効なメニューとなっているため。	
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1 1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	道後温泉本館の保存修理工事による影響 新型コロナウイルスによる影響		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		・関係機関を含めた課題解決のための定期的な協議 ・道後温泉本館保存修理工事の正確な情報発信・提供 ・取り組み可能なコロナ対策等の必要な情報発信 ・修学旅行でのSDGsメニューの販売促進	
R4年度の目標	松山はいく運営委員会の事業として、まち歩きメニューの充実 ・人材の育成・確保 ・国際写真俳句コンテストの開催 ・修学旅行での体験メニュー(SDGsなど)の販売促進		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		着地型観光プログラムである有料まち歩きガイド「松山はいく」の実施・運営「国際写真俳句コンテスト」の開催	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	設定コース数	コース	目標値	20	20	20	20	20	目標値	20	
			実績値	22	23	21			達成年度	R4年度	
			% 達成度	110	115	105					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。			
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。									
	採用旅行会社数	社	目標値	18	18	18	18	18	目標値	18	
			実績値	17	16	16			達成年度	R4年度	
			% 達成度	94	89	89					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。			
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	松山はいく参加者	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	目標値	4,000	
			実績値	2,091	1,673	1,788			達成年度	R4年度	
			% 達成度	52	42	48					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。			
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。									
	写真俳句の応募数	句	目標値	4,250	4,500	4,500	4,500	4,500	目標値	4,500	
			実績値	4,181	4,113	4,491			達成年度	R4年度	
			% 達成度	98	92	99					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。			
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。									
修学旅行での採用数	校数	目標値	12	12	12	12	12	目標値	12		
		実績値	12	10	14			達成年度	R4年度		
		% 達成度	100	84	117						
指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。				
本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	設定コース数は、目標を達成しており、本市の地域資源である「俳句」を楽しむ旅の促進に寄与できた。採用旅行会社数は、昨年度と同程度の採用数となっているが、OTAの活用や広告出稿などを通じ、消費者の目に触れるよう流通販売の強化を行い、松山の魅力を伝えることができた。									
	成果指標	松山はいく参加者は、新型コロナウイルスの影響により昨年度と比較し、同程度の結果となり成果達成には至らなかったが、松山はいくは、本市ならではの旅行商品であり、今後も関係団体と連携し、旅行者の多様なニーズに合うよう商品の磨きや開発を行い観光振興につなげていきたい。国際写真コンテストは、友好都市や関係団体と協力し、あらゆる機会を捉えて幅広く広報を行ったことで、過去最高を更新し、総合的に松山の魅力発信につながった。修学旅行での採用数は、全国の学校等に積極的に営業した結果、目標を上回った。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	浦田 絵微	主事	東村 真実
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	高橋 毅	主事	東村 真実

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32212	松山フードツーリズム推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興							主な取り組み	戦略的観光振興の推進
主な取り組み	観光都市としての魅力向上					市長公約	421	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	市を代表する観光スポットや伝統工芸品、俳句などの様々な地域資源を有効に活用します。							瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。	
総合戦略	3222	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	2	② 修学旅行の誘致や国内外の観光客増加に向け、松山城や坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの観光文化施設、俳句を中心とした短詩系文学やことばのちからなどの文化資源、正岡子規や秋山兄弟といった松山ゆかりの人物、三津浜焼きといったご当地グルメなどの地域資源など、あらゆるジャンルの観光資源の更なる有効活用を検討します。また、魅力ある誘客施設や地元が潤う仕組みの体験型観光メニュー、商品企画の研究を行います。	
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)						
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	無し								

事業の目的(どのような状態にするか)	ワクチンの普及などにより、旅行需要が回復することを見据え、「食」をテーマとした、SNS等で人に紹介したくなるような松山ならではの旅行商品を作成することで、観光機運が高まった際に、多くの観光客、特に食に関心の高い女性層やキーマン(旅行先決定権者)を中心に本市への誘客を図り、訪れた観光客に食を楽しむ機会を多く提供することで、滞在時間の延長や消費の拡大につなげることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	○(公財)日本交通公社が行った「旅行意識調査」によると、「旅先で美味しいものを食べたい」という動機が最も多く、「食」への関心が高まっている。 ○宿泊エリアでの消費行動として、「食」に関しては、①朝食、②昼食、③スイーツ・喫茶、④夕食、⑤飲み会の5つの場面があり、観光において追加消費の可能性の高いコンテンツとなっている。 ○一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店を中心として、食材の生産者や旅館など様々な業種が影響を受けており、観光面からの支援も必要。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	体験型の商品や、クーポンが特典となった商品など、「食」をテーマとした松山ならではの魅力を活かした着地型旅行商品を作成する。 また、モニターツアーを実施し、商品のブラッシュアップを行うほか、旅行会社向けに紹介する旅行商品集を作成する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	3	~	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	9月補正
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				0			9,000			0
決算額(B)(単位:千円)				0			9,000			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0			1,501			0
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			0			0			0
	一般財源			0			7,499			0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							負担金:9,000千円			R4年度から「誘客促進・観光おもてなし事業」に統合
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							全額9月補正で追加			R4年度から「誘客促進・観光おもてなし事業」に統合
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			0			0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	体験型の商品や、クーポンが特典となった商品など、「食」をテーマとした松山ならではの魅力を活かした着地型旅行商品を作成する。 また、モニターツアーを実施し、商品のブラッシュアップを行うほか、旅行会社向けに紹介する旅行商品集を作成する。									
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		目標以上の数の旅行商品を作成することができたため。			
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		観光客の誘致促進に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の収束状況を注視しながら事業を実施する必要がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		新型コロナウイルス感染症の収束状況を注視しながら事業を実施する。			
R4年度の目標	新型コロナウイルス対策に十分配慮し、令和3年度に達成した「食」をテーマとした松山ならではの着地型旅行商品をPRし、観光客誘致につなげる。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		令和3年度に達成した「食」をテーマとした松山ならではの着地型旅行商品を周知するため、旅行会社向けのモニターツアーを実施するほか、作成した旅行商品の特集ページを作成し、観光客誘致につなげる。 また、商談会等に参加し達成した旅行商品のPRを行う。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	旅行商品造成数	個	目標値	—	—	5	—	—	目標値	5	
			実績値	—	—	8			達成年度	R3	
		%	達成度	—	—	160					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	R3年度のみ旅行商品を造成するため。			
	本指標の設定理由	食に関心の高い女性などの誘客につなげるため。									
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	松山市観光客推定数 ※年度ではなく年	人	目標値	—	—	6,150,000	6,150,000	6,150,000	目標値	#####	
			実績値	—	—	3,956,800			達成年度	R4	
		%	達成度	—	—	64					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年)を目標として設定する。			
	本指標の設定理由	松山市の観光客数を表す指標であるため。									
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値							目標値	
			%	達成度						達成年度	
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標以上の数の旅行商品を造成することができた。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少することが予想されるが、コロナ前の水準まで観光客数を回復させたい。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主査	武井 昭憲
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	高橋 毅

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32221	権現温泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-		
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市温泉使用条例,松山市温泉使用条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展をはじめ地域の振興に寄与する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	源泉の掘削完了及び条例の制定						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	温泉の供給先に対し、使用料を毎月請求し、入金管理を行う。 温泉の適正な供給のため、分湯施設(源泉・貯水槽・分湯槽)の維持管理を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	配湯料180リットルあたり5円×1.1			
始期・終期(年度)	昭和	34	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						13,758			340		483
決算額(B)(単位:千円)						8,716			229		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			1,293			1,404		1,405
			一般財源			7,423			-1,175		-922
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								光熱水費:135千円 委託料:44千円		光熱水費:150千円 手数料:139千円 工事請負費:100千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			5,042			111		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	権現温泉の源泉を許可施設に供給するとともに、使用料の徴収管理を行った。 委託により貯水槽及び分湯槽の清掃を行った。 その他、定期的に施設全体の点検を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の計画どおりに業務を遂行できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	権現地区の観光及び地域振興に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	権現温泉を適正に供給し、さらなる観光事業の発展をはじめ地域の振興に寄与する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		維持管理業務をしっかり行い、適正に温泉を供給する。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	曾根 崇文	担当者名	主事	的場 愛子	主事	片坐 美乃
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	三神 正裕	担当者名	主事	五藤 菜月		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	四国のみち管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全と快適な利用を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全と快適な利用を確保するため、愛媛県から管理委託の要請があり事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	四国のみち(四国自然歩道)委託区間:36.7km 旧道三坂峠を下るのみち、瀬戸風峠へののみち、北三方ヶ森へののみち、高縄山探鳥のみちの各ルートを良好な状態に保つため、パトロールを行う。 また、シルバー人材センターに委託料を支出し、清掃活動等を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						65			65		65
決算額(B)(単位:千円)						64			64		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			0		0
			県支出金			63			63		63
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			1			1		2
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								委託料 60千円 消耗品費 4千円		委託料 63千円 消耗品費 2千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			1			1		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	旧道三坂峠を下るのみち、瀬戸風峠へののみち、北三方ヶ森へののみち、高縄山探鳥のみちの各ルートを良好な状態に保つため、パトロールを行った。 また、シルバー人材センターへの委託により清掃活動等を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の計画どおりに業務を遂行できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	四国のみちを安全に通行できるよう、環境整備を行うことができた。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	山林であるため倒木が多く管理が難しい。また最低賃金が上昇していることに伴い、シルバー人材センターへの清掃業務委託料が増額しており、県支出金の範囲内の業務が困難になってきている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	災害などから道の安全を確保するため、県と連携してパトロールを強化する。		
R4年度の目標	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全と快適な利用を確保する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	四国のみちを良好な状態に保つため、パトロールと清掃活動等を行う。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	富岡 有紀子	主事	芝 澄麗
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主事	河野 梨花	主事	片坐 美乃

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	二之丸庭園・城山公園等管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興				主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備			市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山城山索道条例、松山城山索道条例施行規則、都市公園法、松山市都市公園条例、松山城二之丸史跡庭園条例、松山城二之丸史跡庭園条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	観光・文化教育施設として、松山城二之丸跡の遺構を保護する一方、四季折々に楽しめる史跡庭園として活用するとともに、市民に開放された都市公園である城山公園山頂広場(本丸広場)及び登城道等の効率的な維持管理・運営を目指す。 また、ロープウェイ東雲口駅舎2階に設置される交流ホールと会議室は、情報発信機能とまちづくり支援機能を担っていることから、市民と観光客の交流スペースとして様々な取り組みを実施し、利用促進を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	二之丸史跡庭園、城山公園、観光交流ホールおよび会議室は、松山城および索道運輸事業に関連する施設として、H20年度から一括して指定管理者を選定している。これまで各施設で事務事業を設定していたが、令和3年度より一つの事務事業に統合した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	指定管理者である伊予鉄道株式会社へ指定管理料を支出し、二之丸史跡庭園内施設について、庭園の運営、施設の日常管理を行うほか、連携してイベントを企画し実施する。 また、松山城公園丸之内地区のうち、本丸・長者ヶ平・登城道等(建物を除く)について、樹木の点検及び剪定や日常的な清掃及び維持補修を行う。 さらに、特に交流ホール及び会議室については、指定管理者と連携し、一般貸し出しのため、利用申請受付、使用料徴収、利用促進のための各種案内及び企画等を行い、情報発信機能とまちづくり支援機能を担う。 その他、指定管理者からの報告に基づき、必要に応じて施設の修繕等の対応を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	入園料 大人200円ほか(条例)、観光交流ホール:1時間 3,030円ほか(条例)			
始期・終期(年度)	令和	3	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							116,795		115,219	
決算額(B)(単位:千円)							113,441			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					2,779		4,171		
	県支出金					0		0		
	市債					0		0		
	その他					8,351		11,895		
	一般財源					102,311		99,153		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料:106,541千円(指定管理料) 委託料:2,774千円(コロナウイルス感染防止対策業務) 工事請負費:799千円(城山公園古町口登城道不陸調整その他工事代金)		委託料:112,501千円 工事請負費:1,800千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							松山春まつり事業から318千円流用 「交流ホール運営事業」、「城山公園管理事業」、「二之丸管理事業」と統合			
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			0			3,354			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	伊予鉄道株式会社に指定管理料を支出し、二之丸史跡庭園および城山公園、交流ホール及び会議室の適切な維持管理を実施した。 指定管理者と連携し、二之丸茶室や交流ホール等の利用実績の増加に向けて、施設の貸し出しについての周知を行うほか、魅力ある展示等を行った。 二之丸史跡庭園や交流ホール等の施設利用者に対し、新型コロナウイルス対策として、検温や消毒、連絡先の記入等を等を実施し、安全安心に施設を使用いただけるよう努めた。						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	二之丸史跡庭園および城山公園、交流ホール及び会議室を適切に維持管理することができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	施設を適正に管理し、観光事業の発展や市民と観光客の交流促進を図るなど、地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	安心して施設を利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き行っていく必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		二之丸史跡庭園や交流ホール等の施設利用者に対して検温を実施し、体調不良の有無を確認する。また、施設の消毒を適切に実施するとともに、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、利用者への感染防止を徹底する。		
R4年度の目標	指定管理者と連携し、引き続き二之丸史跡庭園および城山公園、交流ホール及び会議室の適切な維持管理を実施するとともに、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、施設の貸し出し制度についての周知に努め、実績の増加及び魅力ある展示の実現を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		伊予鉄道株式会社に指定管理料を支出し、二之丸史跡庭園および城山公園、交流ホール及び会議室の適切な維持管理を行う。 指定管理者と連携し、二之丸茶室や交流ホール等の利用実績の増加に向けて、施設の貸し出しについての周知を行うほか、魅力ある展示等を行う。 二之丸史跡庭園や交流ホール等の施設利用者に対し、新型コロナウイルス対策として、検温や消毒、連絡先の記入等を等を実施し、安全安心に施設を使用いただけるよう努める。 現在の指定管理期間がR4年度末で満了する予定だが、観光客や市民に対してのサービスを切れ目なく提供するため、これまでの指定管理の実績を検証しながら、R5以降の施設管理について、関係各課と協議しながら、必要な準備を進める。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	主査	武井 昭憲
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	主事	高橋 毅

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	渡船管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市鹿島公園渡船施設使用料条例、松山市鹿島公園渡船施設使用料条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	渡船運営に関する管理・点検(遊覧船を含む)及び駐車場の管理を行い、快適な運航や乗客の安全を確保するなど、鹿島への誘客・利便性の向上を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	鹿島への誘客・利便性の向上を図るため、公共交通機関として市が渡船業務を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	鹿島渡船の利用者に、渡船券の発券、駐車場の管理、渡船の運航を行う。(令和3年度来島者数:約3万人) 渡船待合所、渡船運航業務は民間委託し運営している。 ・鹿島渡船運航業務委託先:石崎汽船株式会社 ・鹿島渡船施設管理委託先:松山市シルバー人材センター						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	渡船料:大人210円、小児110円 駐車場:一般520円、泊まり580円			
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	鹿島観光事業特別会計	款	渡船管理事業費		R3予算措置時期	当初
				項	目		
				R2年度	R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					29,579	33,300	29,600
決算額(B)(単位:千円)					27,652	27,374	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0	0	
	県支出金			0	0	0	
	市債			0	0	0	
	その他			27,652	27,374	29,600	
	一般財源			0	0	0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料:18,272千円 修繕料:5,815千円 燃料費:1,533千円		委託料:20,232千円 修繕料:5,300千円 燃料費:1,800千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,927	5,926	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託により渡船、渡船駐車場、その他関連施設の管理を適切に行った。 渡船や渡船待合所での新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	感染症対策を実施しながら、適切に施設管理を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	鹿島公園渡船及び関連施設の管理運営を通じ、鹿島への誘客及び賑わいの創出に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	コロナ禍でも渡船利用者数増加に向けた取組を検討する必要がある。 特別会計の経営改善。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	新型コロナウイルス感染症対策に引き続き取り組む。 適切な点検・整備により修繕料を抑制する。		
R4年度の目標	利用者の増加及び渡船施設の適切な維持管理を行う。 可能な限り収支改善に取り組む。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	委託により渡船、渡船駐車場、その他関連施設の管理を適切に行う。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	富岡 有紀子	主事	河野 梨花
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主任	藤 和憲		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	索道運輸管理事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	3:指定管理
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 地方公営企業法、松山城山索道条例、松山城山索道条例施行規則、松山城山索道の運転の取扱いに関する規則、松山市観光施設事業(松山城・索道)経営戦略

事業の目的(どのような状態にするか)	松山城ロープウェイ・リフトを活用し、松山城への観光客の利便性を図るとともに、安全・安心な索道を運営するなど、観光振興を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和26年「松山観光温泉文化都市建設法」施行の際に「観光施設設計計画事業」を策定し、松山城に関して、松山城ロープウェイ建設と城山公園の整備(本丸広場・長者ヶ平)と罹災建造物の復元を計画した。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 松山城ロープウェイ・リフトについて、平成20年度より指定管理者制度を導入し、伊予鉄道株式会社へ指定管理料を支払い、運営・管理している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・駐車・駐輪施設における自動車等の保管・安全誘導・満車時対応に関する業務 ・集客促進及び苦情処理に関する業務 ・施設の操作・防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・乗車・観覧券等の発行、現金の出納及び保管に関する業務 ・新型コロナウイルス感染症予防対策の実施に関する業務					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	ロープウェイ・リフト利用料 大人往復520円ほか(条例)		
始期・終期(年度)	昭和	30	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費		目	運輸管理費	R3予算措置時期	
				項	目			当初	繰上
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				211,396		209,464		208,685	
決算額(B)(単位:千円)				185,711		200,062			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			185,711		200,062		208,685	
	一般財源			0		0		0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料:194,287千円 給料 :3,170千円		委託料:199,784千円 給料 :3,171千円 役員費:2,635千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		25,685		9,402	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	指定管理者により、施設の管理運営を行った。ただし、令和3年4月8日～5月31日、8月11日～9月30日の計95日間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受け臨時休業した。現在、東雲口駅出入口前に検温所を設置するなど感染拡大防止対策を徹底し、営業している。また、松山城でのイベントに合わせてロープウェイの夜間特別営業も行った。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により、ロープウェイの利用者数も例年の半数以下に減少した。営業再開後は、安全・安心に施設を利用していただくために感染拡大防止対策を徹底している。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		松山城山ロープウェイ・リフトを適正に管理し、観光事業の発展をはじめとする地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		松山城山ロープウェイ・リフトの利用者に対して検温を実施し、体調不良の有無を確認するほか、手指消毒に徹底、靴箱の鍵の消毒、天守内の適切な定員設定など、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を引き続き実施する。	
R4年度の目標	指定管理者と連携し、引き続き適切に施設の管理運営を行う。 安全・安心に施設を利用していただけるよう、索道運行の安全対策に取り組むとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底する。 夜間営業の実施や、さらなるサービスの充実に取り組む。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		現在の指定管理期間がR4年度末で満了する予定だが、観光客や市民に対してのサービスを切れ目なく提供するため、これまでの指定管理の実績を検証しながら、R5以降の施設管理について、関係各課と協議しながら、必要な準備を進める。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主事	江原 晶彦	主査	富岡 有紀子
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主任	土居 幹也		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	索道施設維持管理事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値と魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	地方公営企業法、松山城山索道条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山城ロープウェイ・リフト施設等の補修の必要な箇所を点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に努める。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和26年「松山観光温泉文化都市建設法」施行の際に「観光施設設計計画事業」を策定し、松山城に関して、松山城ロープウェイ建設と城山公園の整備(本丸広場・長者ヶ平)と罹災建造物の復元を計画した。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 内容:平成20年度より指定管理者制度を導入し、施設の維持管理を行っているが、大規模な改修は、本事業から松山市が直接実施している。 令和3年度は、東雲口駅舎2階会議室天井修繕工事は2件の工事について、掛川建設株式会社ほか2者に工事請負費を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	ロープウェイ・リフト利用料 大人往復520円ほか(条例)			
始期・終期(年度)	昭和	30	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費		目	索道運輸管理費	R3予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度			R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)					16,364		16,392		80,866
決算額(B)(単位:千円)					10,231		10,670		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		10,231		10,670		80,866
			一般財源		0		0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						需用費:8,800千円 委託料:963千円 工事請負費:906千円		需用費:8,100千円 委託料:2,500千円 工事請負費:70,200千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		6,133		5,722		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	ロープウェイ・リフトの点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に寄与する。 令和3年度は、施設の適切な管理のため、城山公園(丸之内)リフト沿線に樹木剪定業務委託、東雲口駅舎2階会議室天井修繕工事等を実施。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	必要な修繕や更新工事を行うことで、施設を適切な状態に保つことができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	松山城ロープウェイ・リフトを適正に管理し、観光事業の発展をはじめとする地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	指定管理者と連携して施設の日常点検に努めながら、予算計上している工事を効率的に実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		リフト搬器23台購入 ロープウェイ客車更新等工事	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557	
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主事 江原 晶彦
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主任 土居 幹也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	施設等整備基金積立金	事業性質	2:その他	事業区分	7:その他
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市松山城山索道事業施設等整備基金条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山城の建造物、松山城山ロープウェイ・リフト等の索道施設の大型整備に必要となる経費を基金に積み立てることで、計画的に施設整備を行っていくものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	令和3年3月に「松山市観光施設事業(松山城・索道)経営戦略」を策定し、令和4年度から令和11年度までの大型整備の概算経費7億円が見込まれた。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山城の建造物、松山城山ロープウェイ・リフト等の索道施設 内容:松山城の建造物改修や松山城山ロープウェイ・リフト等の索道施設の大型整備費用を積み立てる。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	令和 3	~	令和 3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山城観光事業特別会計	款	基金積立金		目	施設等整備基金積立金	R3予算措置時期	3月補正
				項	基金積立金				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					0		700,000		0
決算額(B)(単位:千円)					0		700,000		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		0		700,000		0
			一般財源		0		0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						積立金:700,000千円		なし	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						全額3月補正			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	令和4年度から令和11年度までに見込まれた大型整備の概算経費7億円を松山市松山城山索道事業施設等整備基金へ積み立てた。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおりに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	令和3年3月に策定した「松山市観光施設事業(松山城・索道)経営戦略」に沿った大型整備費用の積み立てたができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	なし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		なし
R4年度の目標	なし			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		なし

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主事	河野 梨花	主査	富岡 有紀子
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主任	藤 和憲		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32221	松山城管理事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	3:指定管理
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興			主な取り組み	-	
主な取り組み	受入体制の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	観光客の誰もが快適に楽しむことができるよう、観光拠点施設の維持管理や魅力的な観光ルートの開発など、おもてなしの場の充実に取り組む。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方公営企業法、松山城天守閣条例、松山城天守閣条例施行規則、松山市観光施設事業(松山城・索道)経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	重要文化財・松山城の魅力を高めるとともに、観光客の利便性を図るなど、松山城の運営・管理を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山城の運営・管理について、平成20年度より指定管理者制度を導入し、伊予鉄道株式会社へ指定管理料を支出し、運営・管理している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・施設の防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・集客促進及び苦情処理に関する業務 ・施設の整備及び保守に関する業務 ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・現金の出納及び保管に関する業務 ・観光券等の発行に関する業務 ・新型コロナウイルス感染症予防対策の実施に関する業務					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	天守入場料 大人520円ほか(条例)		
始期・終期(年度)		~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費		目	松山城管理費	R3 予算措置時期	当初
				項	目				
				R2年度			R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)					176,112		144,695		138,149
決算額(B)(単位:千円)					109,894		122,753		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		109,894		122,753		138,149
			一般財源		0		0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算						委託料:116,565千円 役務費:3,856千円 需用費:501千円		委託料:124,930千円 役務費:7,010千円 需用費:2,452千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		66,218		21,942		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	指定管理者により、施設の管理運営を行った。ただし、令和3年4月8日～5月31日、8月11日～9月30日の計95日間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受け臨時休業した。現在、天守入場券売り場前に検温所を設置するなど感染拡大防止対策を徹底し、営業している。令和4年1月から令和4年3月にかけて、オリジナルクイズラリー等の集客促進事業を開催した。令和4年1月には「松山城にのぼる月」が日本百名名に認定された。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により、松山城天守観覧者も例年の半数以下に減少した。営業再開後は、安全・安心に施設を利用していただくために感染拡大防止対策を徹底している。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		松山城を適正に管理し、観光事業の発展をはじめとする地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		天守観覧者に対して検温を実施し、体調不良の有無を確認するほか、手指消毒に徹底、靴箱の鍵の消毒、天守内の適切な定員設定など、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を引き続き実施する。	
R4年度の目標	指定管理者と連携し、引き続き適切に施設の管理運営を行う。 安全・安心に施設を利用していただけるよう、観光客の動線を適切な状態に保つとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底する。 イベントの開催や、さらなるサービスの充実に取り組む。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		現在の指定管理期間がR4年度末で満了する予定だが、観光客や市民に対してのサービスを切れ目なく提供するため、これまでの指定管理の実績を検証しながら、R5以降の施設管理について、関係各課と協議しながら、必要な準備を進める。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	営業日数	日	目標値	364	364	364	364	364	目標値	364	
			実績値	364	299	269			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	82	74					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	定休日(12月第3水曜日)を除いた最大営業可能日数を定めた。			
	本指標の設定理由	施設を利用できるようにしている具体的な数字であるため。									
		目標値								目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値								目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	城郭観覧手数料	千円	目標値	217,000	217,000	217,000	217,000	217,000	目標値	217,000	
			実績値	220,641	75,654	76,190			達成年度	R5年度	
		%	達成度								
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	指定管理者制度導入施設の手数料等の目標設定とする。			
	本指標の設定理由	施設利用状況を示す指標であるため。									
		目標値								目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値								目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業した期間があり未達成であった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みや、臨時休業があったことから未達成であった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	浦田 絵微
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主任	武井 昭憲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32222	誘客促進・観光おもてなし事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	127	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興					市長公約	422	主な取り組み	外国人の誘客促進
主な取り組み	受入体制の整備							元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	松山に良い印象をもっていただき、何度も訪れてくれる人が増えるよう、観光客のニーズに合った真心のサービスを提供するとともに、それが可能となる人材を育成するなど、おもてなしの心の醸成を図ります。					取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。		
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)					② 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。	
政策	②産業の競争力強化(業種別取組)								
施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等									

事業の目的(どのような状態にするか)	観光客へのおもてなし向上策として、食に関するおもてなし対策やまつやま観光キッズの実施、観光関係者と一般市民を対象にした研修会等を開催し、受け入れ態勢を充実させ、まち全体の「おもてなし」風土の醸成を図る。							
背景(どのような経緯で開始したか)	「瀬戸内松山構想」に基づき、観光客の増加が見込まれる中、松山旅行に対するイメージアップを図るため事業を開始した。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:道後地区の小学5・6年生、観光ボランティア希望者・観光関係者、観光客、飲食店関係者、商工会議所 ・観光キッズ:道後地区の小学5・6年生が子供たちの元気さや素直さを生かした観光客へのおもてなしを行う。 ・松山観光文化コンシェルジュ講座「ふるさとふれあい塾」:松山大学特殊講義として学生及び一般市民を対象とした観光客をおもてなしの心を持って迎え入れるためのホスピタリティーの向上と人材育成のための公開講座を実施。 ・自然環境や伝統文化を取り入れた体験メニューの造成・販売促進を行う「グリーンツーリズム体験メニュー開発事業」を実施し、観光客の満足度向上を図るため、松山市地域資源活用推進実行委員会に負担金を支出。 ・「食」の面での情報発信や受入態勢の強化等を行う「フードツーリズム推進事業」を実施し、近年増加しているインバウンドを含む国内外からの観光客への対応を強化するため、株式会社ぐるなびへ負担金を支出。							
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由	ふるさとふれあい塾 テキスト代 1,100円			
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期		
									当初		
						R2年度	R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						3,340	11,667		2,600		
決算額(B)(単位:千円)						3,472	11,257				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				1,275	5,434		750			
	県支出金				0	0		0			
	市債				0	0		0			
	その他				0	0		213			
	一般財源				2,197	5,823		1,637			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金 11,113千円 委託料 150千円		負担金補助及び交付金 1,913千円 委託料 350千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						観光おもてなし対策事業と統合					
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		-132		410	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・ふるさとふれあい塾オンライン講座(12回) ・昨年度開発したメニューの商品展開及び情報発信 ・「いい、つばきの日」イベント開催 ・グリーンツーリズム体験メニューの開発・販売促進							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		コロナ禍でも事業実施可能な方法を検討し、食に関するおもてなし対策や一般市民等を対象にした研修会等の実施によりまち全体の「おもてなし」風土の醸成に繋がった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		観光に訪れた方の満足度向上につながっている			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により各学校の意見が踏まえ、令和2年度の観光キッズの活動は中止とした。新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極めながら、今後の活動方法について検討していく必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のためR4年度で取り組み改善策		・まつやま観光キッズと松山城ガイドキッズの統合についての検討。 ・地元食材等を使用した飲食店イベントの実施による新たな「食の魅力」の発信。			
R4年度の目標	おもてなし内容の充実 松山の魅力を案内できる人材の増加		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・ふるさとふれあい塾 ・ぐるなびと連携したフードツーリズム事業 ・自然等を活用した体験メニューの造成			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	ふるさとふれあい塾講義数	回	目標値	12	12	12	12	12	目標値	12	
			実績値	12	12	12	12	12	達成年度	令和4年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	現状維持を目標とする。			
	本指標の設定理由	一般市民を対象として松山の観光・歴史・文化を学ぶ講義を継続して実施することで、松山の魅力を発信できる人材の育成を図るため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	松山観光文化コンシェルジュ中級認定数	人	目標値	—	—	—	180	180	目標値	180	
			実績値	176	0	0			達成年度	令和4年度	
		%	達成度	—	—	—					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	現状維持を目標とする。			
	本指標の設定理由	一般市民を対象として松山の観光・歴史・文化を学ぶ講義を継続して実施することで、松山の魅力を発信できる人材の育成を図るため。なお、令和2・3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により実績0であるが、令和4年度以降は再開の見込みであるため、本指標を設定した。									
	外国人観光客の入込客数(年:推定値)	人	目標値	—	—	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	—	—	—					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	受入体制の強化により満足度の向上が図られることでリピーターが増加し、ひいては外国人観光客の増加に繋がるため。なお、令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外国人観光客は激減したが、令和4年度以降のインバウンド再開を見据え、本指標を設定した。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	食に関するおもてなし対策や一般市民等を対象にした研修会等の実施により、まち全体の「おもてなし」風土の醸成が図られている。									
	成果指標	松山の魅力を案内できる人材の増加や、外国人観光客の受入体制整備の実施により、本市を訪れた観光客の満足度向上に繋がっている。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主査	武井 昭憲
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	高橋 毅

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	クルーズ船誘致・受入推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	127	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興		市長公約	422	主な取り組み	外国人の誘客促進
主な取り組み	情報発信の充実				元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。		取組み	422	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。	
総合戦略	3221	基本目標 ③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化) 政策 ②産業の競争力強化(業種別取組) 施策 ②戦略的観光振興による域内経済活性化			① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り		
根拠法令,条例,個別計画等	無し					

事業の目的(どのような状態にするか)	松山港に寄港するクルーズ船を誘致するために、外国の船会社に対する商談会に参加し、松山市の魅力やPRするとともに、寄港するクルーズ船に対して、歓迎セレモニー等おもてなしを実施することで乗員乗客の満足度向上を図り、本市への再訪に繋げる。					
背景(どのような経緯で開始したか)	・全国的なクルーズ船の運航が増加する中で、本市への寄港誘致を行い、観光交流人口の増加を図る目的で平成30年度に事業化した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・主に外国籍のクルーズ船を対象に、港湾管理者である愛媛県と連携を図り誘致・プロモーションを実施 ・松山港に寄港するクルーズ船(令和元年度ダイヤモンド・プリンセス など) 松山港に寄港するクルーズ船に対しておもてなしを実施するために会場設営や観覧案内などを委託業務で実施する。 クルーズ船の誘致を行うために、先進市の取組み等の情報収集に努め、商談会にも積極的に参加し、PRを行う。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、適切な手法で事業実施していく。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 30	～	令和 7	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						23,827			13,470		13,149
決算額(B)(単位:千円)						250			125		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			46			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			108			62		11,824
		一般財源			96			63		1,325	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								普通旅費:125千円	・委託料 12,500千円 ・旅費 444千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				23,577			13,345		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・クルーズ船誘致のための、情報収集 ・クルーズ船受入のための「松山港クルーズ振興会」の運営					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたクルーズ船の寄港が全て中止となったため。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	観光交流人口の拡大のため、クルーズ船の誘致を行うとともに、寄港時の乗客の満足度を高めることで本市への再訪や、SNS等での本市情報の発信につながるため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響によりクルーズ船の寄港が中止となっている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	県などの関係団体と連携し、情報収集に努める。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の感染状況を慎重に見極めつつ、誘致や受入に取り組んでいく。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・クルーズ船の受入 ・JNTO等が主催する、海外クルーズ船会社向けの商談会への参加		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	クルーズ船商談会参加、視察受け入れ回数	回	目標値	5	5	5	5	5	目標値	5	
			実績値	5	1	1			達成年度	R5	
		%	達成度	100	20	20					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方	JNTO等が主催する商談会等の機会を捉え、愛媛県と誘致対象の船会社やクルーズを検討しながら、本市経済に効果的と考えられる船を対象に誘致を行っていく。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて対応していく予定。	
	本指標の設定理由	クルーズ船の寄港誘致のための活動であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	クルーズ船受入数	隻	目標値	2	4	1	1	4	目標値	4	
			実績値	2	0	0			達成年度	R5	
		%	達成度	100	0	0					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)							最終目標値の設定の考え方	港湾管理者である愛媛県が、現在の利用状況等から、年間10隻程度が受入の上限と考えており、利用者調整を行いながら、寄港数の増加を目指していく。令和4年度については新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルが出ており入港予約数が1のため、目標数も合わせている。	
	本指標の設定理由	松山に寄港するクルーズ船の増加により、本市経済の活性化につながるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルスの影響により、例年よりも商談会の開催が少なかったが、今後の寄港数増加に向け、感染拡大状況を見極めながら誘致に取り組んでいく。									
	成果指標	新型コロナウイルスの影響により寄港のキャンセルがあったが、継続寄港や新規の寄港に向けて引き続き誘致を行っていく。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	曾根 崇文	担当者名	主事	的場 愛子	主事	片坐 美乃
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主査	三神 正裕	担当者名	主事	五藤 菜月		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32231	観光WEBプロモーション事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興		市長公約	421	主な取り組み	戦略的観光振興の推進
主な取り組み	情報発信の充実				元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	インターネットや、情報発信において大きな影響力をもつメディアを有効に活用し、多角的な情報発信を行います。		取組み	421	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。	
総合戦略	3153	基本目標 ③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化) 政策 ①産業の競争力強化(業種横断的取組) 施策 ⑤各種データの提供・分析・活用(EBPMの推進)			③ 急増するインバウンドの状況について、観光統計など様々なデータを用いて分析することで、多分野にまたがるインバウンド関連取組の方向性を整理し、効率的な対策の立案に取り組みます。	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り			
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	松山市の観光情報をWEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」等を用いて発信し、当該サイトへのアクセス件数を向上させ、観光都市としての松山市の認知度向上に努めながら誘客を図り、観光産業の振興及び地域経済の発展に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	既存の松山市WEBサイトは、観光情報に特化した情報発信ができず、写真の使用も少なく文字情報を中心とした内容であった。また、外国人向けには、日本語の文字情報を自動翻訳しただけのものであった。需要を踏まえ、よりPR効果の高い観光情報を国内及び海外に発信する必要があったため、平成27年度事業により、日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字)・中国語(简体字)の5言語に対応した観光情報専用WEBサイトを新規構築し、同時に、旬な情報を発信しWEBサイトを補完するFacebook(日本語版)を開設した。平成30年度から、Instagram公式アカウントも開設した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	委託事業者(セキ株式会社)に委託料を支出し、松山市観光WEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」・Facebook、Instagram「四国松山 せとうち松山」の運営管理等を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				12,672			10,021			15,031
決算額(B)(単位:千円)				9,288			9,031			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			4,644			3,955			5,848
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			0			0			0
一般財源				4,644			5,076			9,183
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料 9,031千円			委託料 15,031千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			3,384			990

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託事業者への委託により、WEBサイト及びFacebook,Instagramの運営・保守・管理・更新を行った。またコンテンツの追加や見直し、モデルコース作成、WEBプロモーションを行った。						
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルスの影響により、WEBプロモーションの実施を一部見送らざるを得なかったこと。また、観光需要の低下等により、サイトの閲覧数が目標値に達しなかったこと。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		WEBサイト等を適正に運営して誘客につなげ、観光事業の発展をはじめ地域の振興に寄与していることから、観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの感染拡大による観光需要の低下に伴う観光WEBサイトの閲覧数減少		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		デジタルマーケティングを活用しながら、ターゲットを絞った効果的なWEBプロモーションを行うとともに、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、観光WEBサイトの内容を充実させていく。		
R4年度の目標	ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、効果的なプロモーション及び観光WEBサイトの内容の充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光WEBサイトの内容の充実 ・デジタルマーケティングに基づく効果的なWEBプロモーション ・SNSによる時期を捉えた情報発信		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	モデルコース掲載数	件	目標値	-	7	10	10	10	目標値	10	
			実績値	-	10	10	10	10	達成年度	R5	
		%	達成度	-	143	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	合計10件のモデルコースについて、内容面での見直し・充実を図っていく。				
	本指標の設定理由	WEBアンケートの集計結果から、モデルコースの充実が課題となったため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	サイト閲覧数	PV	目標値	1,000,000	1,000,000	800,000	1,000,000	1,000,000	目標値	#####	
			実績値	837,756	625,060	657,813			達成年度	R4	
		%	達成度	84	63	82					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	サイト開設(H28.2)からこれまでの伸び率と、他市の実績を基に年間100万PV達成を目指し、以降維持するものとして設定した。				
	本指標の設定理由	松山観光WEBサイトの活用度合を表す指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	令和3年度は、既存のモデルコース10件の情報更新や翻訳を行い、内容の充実を図ることができた。									
	成果指標	新型コロナウイルスの影響によりWEBプロモーションの実施を一部見送ったことに加え、観光需要の低下が著しかったことから、閲覧数が減少した。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主事	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(多言語パンフレット作成)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-		
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約	元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。						422	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。		
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					

根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市の観光施設、イベント、特産品といった観光情報を、外国人観光客に対して分かりやすく効果的に発信するため、観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、配布する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	本市を訪れる外国人観光客の受入環境整備を目的とし、以下のとおり配布を開始した。 ・英語版:平成27年4月に配布開始。 ・中国語(繁体字)版:平成28年3月に配布開始。 ・韓国語版:平成29年4月に配布開始。 ・中国語(簡体字)版:平成30年11月に配布開始。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:本市を訪れる外国人観光客等 事業内容:観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、市内の交通結節点や観光案内所等で配布する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						4,411		3,256		1,419	
決算額(B)(単位:千円)						0		306			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		0	
	県支出金			0		0		0		0	
	市債			0		0		0		0	
	その他			0		0		0		0	
	一般財源			0		0		306		1,419	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料 306千円	印刷製本費 1,199千円 筆耕翻訳料 220千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							パンフレットは増刷していないが、インバウンド再開を見据え、外国人観光客が利用しやすいように観光情報等を掲載したカードを作成。				
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	4,411	2,950			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	掲載内容の検討 観光案内所や宿泊施設等への送付										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により本市を訪れる外国人観光客が大幅に減少したため、令和3年度は観光案内所等から送付依頼がなかった。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、観光施設等からの送付依頼は少なかったが、インバウンド再開を見据えてJNTOの海外事務所等へパンフレットを送付し、本市のPRに寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、本市を訪れる外国人観光客が減少している。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて適切なパンフレット作成を行う。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて適切なパンフレット作成を行う。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・掲載内容の見直し ・パンフレットの印刷発注,翻訳依頼 ・観光案内所や宿泊施設等への送付		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	多言語パンフレット配布数	部	目標値	80,000	20,000	20,000	80,000	80,000	目標値	80,000	
			実績値	40,195	8,328	7,662			達成年度	R5年度	
			% 達成度	50.2%	41.6%	38.3%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		これまでの実績を踏まえた目標値とする。			
	本指標の設定理由	より多くの外国人観光客にパンフレットを配布することで、観光情報のPRや受入態勢の強化による満足度の向上を図るため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入込客数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
			% 達成度	73.6%	12.7%	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	海外事務所へのパンフレット送付により、松山市の認知度向上を図ることで外国人観光客の増加を図るため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国語パンフレットの需要が減少したため、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主席	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主事	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(国際観光振興機構負担金)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-			
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-			
主な取り組み	情報発信の充実				市長公約	422	元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。				
	政策	②産業の競争力強化(業種別取組)								
	施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	海外へのPRIによる本市の認知度向上及び誘客促進を図るため、独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の賛助会員となり、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成21年度から独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の海外事務所のネットワークを活かし、海外へのPRIによる本市の認知度向上及び誘客の促進を図るため、賛助会員となり負担金の支出を行っている。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:独立行政法人国際観光振興機構(JNTO) 事業内容:賛助会員となるために必要な負担金を支出し、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	12	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						300		300			300
決算額(B)(単位:千円)						300		300			300
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0			0
	県支出金					0		0			0
	市債					0		0			0
	その他					0		0			0
	一般財源					300		300			300
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金 300千円		負担金 300千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				0		0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・負担金の支出 ・海外事務所へのパンフレット送付 ・マーケティングデータ等の収集・分析										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			コロナ禍でもできることをJNTOと連携を図り実施した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		海外事務所へのパンフレットの送付や当機関のWEBサイトへのデジタルパンフレットの掲載を通じて海外へのPRを円滑に行うことができる。また、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手することで、受入環境の向上に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国際線の運航が限定されている。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		海外事務所へのパンフレット送付や当機関のWEBサイトへのデジタルパンフレットの掲載を通じて、国際線の運休に関わらず、本市のPRを行う。				
R4年度の目標	海外事務所へのパンフレットの送付や、当機関のWEBサイトへのデジタルパンフレットの掲載を通じて海外へのPRを行う。また、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手・分析することで、受入環境を整備する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・海外事務所へのパンフレット送付 ・マーケティングデータ等の収集・分析				

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	海外事務所へのパンフレット送付数	部	目標値	5,000	6,000	6,500	6,500	6,500	目標値	6,500	
			実績値	4,490	2,215	350			達成年度	R5年度	
		%	達成度	89.8%	36.9%	5.4%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。				
	本指標の設定理由	国ごとのニーズを適切に把握し、パンフレットを送付することで松山市の認知度向上および観光施設等のPRを図るため。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入込客数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
		%	達成度	73.6%	12.7%	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画で設定した目標値。				
	本指標の設定理由	海外事務所へのパンフレット送付により、松山市の認知度向上を図ることと外国人観光客の増加を図るため。									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、事務所からの送付依頼が減少したため、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(松山空港利用促進協議会負担金)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-		
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。						422	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。		
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。			
	政策	②産業の競争力強化(業種別取組)								
	施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						

根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山—台北線を利用したインバウンド利用の増加による、台湾からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施するとともに、松山—台北線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布、無料バスの運行等により観光客の利便性・満足度を向上させることで同線の安定運航を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	令和元年の松山—台北線の就航にあたり、安定的な運航を確保するため、松山市空港利用促進協議会(事務局:愛媛県)が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市空港利用促進協議会に対し負担金を支出し、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				54,961			4,518			10,222
決算額(B)(単位:千円)				5,298			4,194			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			1,969			0			0
	県支出金						0			0
	市債						0			0
	その他						0			0
	一般財源			3,329			4,194			10,222
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							負担金 4,194千円			負担金 9,906千円 旅費 310千円 通信運搬費 6千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							新型コロナウイルス感染症の影響により国際線が運休し、事業が実施できなかったことによる減。			国際線の再開に伴うインバウンド回復を見据えた事業実施による増。
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			49,663			324

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山—台北線を利用したインバウンド利用の増加による、台湾からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、松山空港利用促進協議会へ負担金を支出。 【主な事業内容】 台湾における認知度向上及び定期便再開後の誘致促進を図るための旅行会社及び個人旅行者に対する各種プロモーション等。								
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により、松山—台北線が運休したことで、実施できない事業が多かったため。			
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた事業が実施できなかったが、愛媛県と連携して、愛媛県や松山市の認知度向上等に寄与する取組を行うことで、本市におけるインバウンド受入れ等に寄与している。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響により松山—台北線が長期間欠航している。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		愛媛県等と連携し、新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極めながら、直行便の再開後の安定運航に向けて、外国人観光客の誘客に取り組む。		
R4年度の目標	現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施することで愛媛県や松山市の認知度を向上し、直行便の利用促進、安定運航を図る。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		旅行会社や個人旅行者への各種プロモーション		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	松山空港降客数 (松山-台北線)(年 集計)	人	目標値	7,000	5,000	10,000	10,000	10,000	目標値	10,000	
			実績値	7,197	1,819				達成年度	R5年度	
		%	達成度	102.8	36.4	0					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。			
	本指標の設定理由	松山-台北線の利用促進により外国人観光客の増加を図るため。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入込 客数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
		%	達成度	73.6	12.7	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	松山-台北線の利用者の増加により、本市の外国人旅行者の増加に 繋がるため。									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休期間が継続していることから、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が継続していることから、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができな い定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主事	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-	
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約	元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります		
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。						422	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。	
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。		
	政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
	施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									

事業の目的(どのような状態にするか)	松山-ソウル路線の利用の増加による、韓国からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、韓国メディア・旅行会社の招聘や現地でのPR等を実施することで、同線の安定運航を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	松山-ソウル線の安定的な運航と同路線の活用による県内産業の振興を図ることを目的として、平成12年に「愛媛・韓国経済観光交流推進協議会」(事務局:愛媛県)が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等の事業を実施する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	12	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期		
									当初	繰上	
						R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						25,870		3,726	9,415		
決算額(B)(単位:千円)						2,433		2,126			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					1,050		0	0		
	県支出金					0		0	0		
	市債					0		0	0		
	その他					0		0	0		
	一般財源					1,383		2,126	9,415		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金 2,126千円		負担金 9,189千円 旅費 220千円 通信運搬費 6千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						新型コロナウイルス感染症の影響により国際線が運休し、事業が実施できなかったことによる減。		国際線の再開に伴うインバウンド回復を見据えた事業実施による増。			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	23,437	1,600			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山-ソウル線の利用増加による、韓国からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出。 【主な事業内容】 韓国メディア・旅行会社の招聘や現地でのPR、松山-ソウル線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布、無料バスの運行等。									
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた事業ができなかったが、愛媛県と連携して、愛媛県や松山市の認知度向上、周遊・誘客の促進及び外国人観光客に対するホスピタリティ向上や観光案内の強化を行うことで、本市の外国人観光客数の増加及び受入環境の向上に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響により松山-ソウル線が長期間欠航している。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		愛媛県等と連携し、新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極めながら、直行便再開後の安定運航に向けて、外国人観光客の誘客に取り組む。		
R4年度の目標	現地でのPRにより愛媛県や松山市の認知度を向上させ、直行便再開後の利用促進、安定運航を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・現地でのPR ・県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修等の実施による、外国人観光客に対するホスピタリティの向上		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	松山空港降客者数 (松山-ソウル線)(年 集計)	人	目標値	30,000	10,000	10,000	30,000	30,000	目標値	20,000	
			実績値	28,244	3,560	0			達成年度	R5年度	
		%	達成度	94.1%	35.6%	0.0%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。				
	本指標の設定理由	松山-ソウル線の利用促進により外国人観光客の増加を図るため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入込 客数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
		%	達成度	73.6%	12.7%	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	第6次松山市総合計画で設定した目標値。				
	本指標の設定理由	松山-ソウル線の利用者の増加により、本市の外国人旅行者の増加に 繋がるため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休期間が継続していることから、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が継続していることから、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができな い定性的な成果がある場合,その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主事	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-		
主な取り組み	情報発信の充実				市長公約	422	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります		
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。					瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事での影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)						
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	愛媛県や松山市を含む県内市町の認知度向上および外国人観光客の誘致を目的とし、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等を実施するとともに、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修等の実施により、外国人観光客に対するホスピタリティの向上を図る。また、松山-上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等により同線の安定運航を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	国際観光の振興を目的として平成12年に「愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に負担金を支出し、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修および松山-上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等の事業を実施する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	12	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				10,164			3,589			3,829
決算額(B)(単位:千円)				2,257			3,027			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			880			0			0
	県支出金			0			0			0
	市債			0			0			0
	その他			0			0			0
	一般財源			1,377			3,027			3,829
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							負担金 3,006千円 旅費 21千円			負担金 3,829千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							新型コロナウイルス感染症の影響により国際線が運休し、事業が実施できなかったことによる減。			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			7,907			562

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県や松山市を含む県内市町の認知度向上および外国人観光客の誘致を目的とし、愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会へ負担金を支出。 【主な事業内容】 海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修、松山-上海線を利用した旅行商品への助成、市内観光施設の無料券の配布等。									
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となったため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた事業が実施できなかったが、愛媛県と連携し、愛媛県や松山市の認知度向上や旅行商品の低価格化による外国人観光客の誘客促進に寄与する取組を行うことで、本市の外国人観光客数の増加、地域経済の活性化に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響により松山-上海線が長期間欠航している。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取組む改善策		愛媛県等と連携し、新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極めながら、直行便再開後の安定運航に向けて、外国人観光客の誘客に取り組む。			
R4年度の目標	現地代理店を活用し、中国現地でのPRを行い、愛媛県や松山市の認知度を向上させ、直行便再開後の利用促進、安定運航を図る。				R4年度の主な取組内容(予定含む)		・各種プロモーション ・現地での観光ブース出展			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	松山空港降客数(松山-上海線)(年集計)	人	目標値	10,000	2,000	5,000	10,000	10,000	目標値	10,000	
			実績値	7,818	683	0			達成年度	R5年度	
		%	達成度	78.2%	34.2%	0.0%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。				
	本指標の設定理由	松山-上海線の利用促進により外国人観光客の増加を図るため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入込客数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
		%	達成度	73.6%	12.7%	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画で設定した目標値。				
	本指標の設定理由	松山-上海線の利用者の増加により、本市の外国人旅行者の増加に繋がるため。									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休期間が継続していることから、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が継続していることから、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主任	土居 幹也
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主任	池田 剛典	主事	善家 勲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(観光国際化研修)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-			
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-			
主な取り組み	情報発信の充実				市長公約	422	元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	外国人観光客に対する県内観光関係者の接客技能やホスピタリティの向上を図るため、中国語を含む多言語での接客に必要な基本的な語学や、習慣の違い等の異文化に関する研修を実施する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成16年に松山上海便が就航し、外国人観光客が増加したことから、県内の観光従事者のホスピタリティの向上を目的として開始した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	【令和元年度まで】 県内の観光事業者を対象に、中国語の入門講座(全6回)として、接客に必要な基本的な語学や、習慣の違い等の異文化に関する研修を実施。 (愛媛県、松山商工会議所、(一社)愛媛県観光物産協会、松山市が共同で、英語、韓国語、中国語の講座を言語毎に対面方式で実施) 【令和3年度】 「ふるさとふれあい塾」の中で英語、中国語、韓国語のインバウンドに対するあいさつや接客にあたり留意すべき文化などについて講座をオンラインで2回実施。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初	R4年度	
											R2年度	R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)						303		273				0
決算額(B)(単位:千円)						0		0				0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0		0				0
			県支出金			0		0				0
			市債			0		0				0
			その他			0		0				0
			一般財源			0		0				0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								別事業で対応したため未執行				未計上
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												誘客促進・観光おもてなし事業と統合。
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			303		273				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	講座の開催に向けての調整。										
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			昨年度までと実施方法を見直したことで、R2年度に比べ参加者数が増加したため。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		松山市を含む県内の観光事業者が接客力を向上させ、異文化に対する理解を深めることでおもてなし度が向上し、外国人観光客の受入体制の整備に繋がった。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大の影響により従来の対面形式での講座の実施が困難となっている。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、オンラインでの開催も検討。		
R4年度の目標						R4年度の主な取り組み内容(予定含む)					

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	中国語講座の申込者数	人	目標値	30					目標値	30	
			実績値	13					達成年度	R5年度	
		%	達成度	43.3%							
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。			
	本指標の設定理由	より多くの受講者に受講していただき、接遇力の向上および異文化に対する理解を深めることで受入体制の整備を図るため。									
	外国語講座の申込者数 (英語、中国語、韓国語)	人	目標値		30	30				目標値	30
			実績値		69	117				達成年度	R5年度
		%	達成度		230.0%	390.0%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		これまでの実績を踏まえて、暫定的に目標値とする。			
	本指標の設定理由	より多くの受講者に受講していただき、接遇力の向上および異文化に対する理解を深めることで受入体制の整備を図るため。									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の申込者数(年:推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R5年度	
		%	達成度	73.6%	12.7%	1.5%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	受入体制の整備により満足度の向上が図られることでピーターが増加し、ひいては外国人観光客の増加に繋がるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	実施方法を見直し、「ふるさとふれあい塾」の中で実施したことで、観光関連事業者だけでなく、幅広い世代の受講が可能となったことにより、例年よりも受講者数が増加した。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が継続していることから目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	垂水 洋	担当者名	主任	池田 剛典	主事	丹下 遥香
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887				
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	田邊 浩司	担当者名	主事	丹下 遥香		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(台湾友好交流事業)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	127	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト	
施策	観光産業の振興							主な取り組み	外国人の誘客促進	
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約	422	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります		
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。							瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。		
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。			
	政策	②産業の競争力強化(業種別取組)								
	施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等										

事業の目的(どのような状態にするか)	台北市との友好交流協定をきっかけとした取り組みにより台北市との交流を進展させる。									
背景(どのような経緯で開始したか)	本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ「松山」の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というとも最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:台湾からの外国人観光客 実施内容:台北市をメインターゲットとして、現地での各種イベントに観光PRブースを出展するとともに、両市民を対象とした相互誘客キャンペーンを実施するなど交流推進・観光客誘致に向けた取り組みを行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						5,705			5,377		5,963
決算額(B)(単位:千円)						55			923		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0			0
	県支出金				0			0			0
	市債				0			0			0
	その他				0			0			0
	一般財源				55			923			5,963
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料 358千円 消耗品費 275千円 普通旅費 103千円		普通旅費 1,948千円 委託料 860千円 手数料 726千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				5,650		4,454			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・台北市との相互誘客キャンペーン ・台北市で行われるイベント等での観光PR ・松山-松山チャーター運航実施に向けて愛媛県等の関係機関と連絡・調整を行う。										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により航空路線が運休し、事業の実施が困難であった。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	3:貢献していない		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が困難であったため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来を伴う事業の実施については、国内や渡航先の感染状況等を見極めながら、オンラインでの事業実施も検討する。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が難しいが、渡航が可能となった際に早急に対応できるよう、関係各所との連絡・調整を進める。			
R4年度の目標	観光、文化・スポーツ、青少年、経済など幅広い分野での交流を展開し、交流人口の拡大を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・台北市との相互誘客キャンペーン ・台北市で行われるイベント等での観光PR			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント等での観光PR 出展数	回	目標値	2	3	3	3	3	目標値	3	
			実績値	5	0	1			達成年度	R5年度	
		%	達成度	250.0%	0.0%	33.3%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		これまでの実績を踏まえた数値。			
	本指標の設定理由	PRの状況を数値で計測するため。									
	台北市民向けノベル ティ配布数	セット	目標値	300	300	300	300	300	目標値	300	
			実績値	192	0	0			達成年度	R5年度	
		%	達成度	64.0%	0.0%	0.0%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		台北市と調整し設定した数値。			
	本指標の設定理由	PRの反響を数値で計測するため。									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	台湾からの入込客数	人	目標値	60,000	66,000	72,000	72,000	72,000	目標値	72,000	
			実績値	63,200	9,300	100			達成年度	R5年度	
		%	達成度	105.3%	14.1%	0.1%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	受入体制の整備により満足度の向上が図られることでピーターが増加し、ひいては外国人観光客の増加に繋がるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が難しく、事業を実施することができなかったため、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が難しく、台湾からの外国人観光客数は少なかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887	
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	丹下 遥香
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887	
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	主事	丹下 遥香

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	国際観光客誘致促進事業(ホストタウン事業)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-	
主な取り組み	情報発信の充実				市長公約	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります		
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。					422	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。	
総合戦略	3221	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	① 外国人観光客の動向等に応じた戦略的なインバウンド対策(利便性の向上、受入環境の整備、魅力あるコンテンツの開発・改良、マーケティング、情報発信、外国クルーズ船の誘致・受入等)を行い、外国人観光客の満足度の向上や、交流人口の拡大、滞在時間の延長、再訪率の向上等を図り、松山への更なる誘客を促進します。あわせて、商店街等でのインバウンド消費の取込みを図ります。		
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)					
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等								

事業の目的(どのような状態にするか)	東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録されたことを受け、台湾や台北市との交流を推進する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ「松山」の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というとも最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。 平成28年12月に愛媛県と共同で東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録された。 令和元年に松山-台北線が就航した。 							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:台湾との交流 事業内容:ホストタウンでの受け入れに向けた調整や、ホストタウン関連イベントで本市の観光PRを行う。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,954			2,924		1,263	
決算額(B)(単位:千円)				1			4,012			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			0			0		0	
	一般財源			1			4,012		1,263	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				手数料 3,277千円 負担金 525千円 委託料 176千円			旅費 700千円 委託料 60千円 負担金 152千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,953		-1,088	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流や合宿の受け入れに係る調整 ホストタウンイベントや台湾で行われるスポーツイベント等での観光PR 国主催のホストタウン関連事業への参加 									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響により航空路線が運休し、実際の交流は困難だったが、オンラインを活用する等コロナ禍でも可能な事業を実施したため。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	2:あまり貢献していない		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が困難であったため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来を伴う事業の実施については、国内や渡航先の感染状況等を見極めながら、オンラインでの事業実施も検討する。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が難しいが、渡航が可能となった際に早急に対応できるよう、関係各所との連絡・調整を進める。			
R4年度の目標	オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしての交流を軸に、台湾や友好交流都市である台北市とのさらなる交流人口の拡大を図る。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流や合宿の受け入れに係る調整 台湾で行われるスポーツイベント等での観光PR 			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	イベント等での観光PR 出展数	回	目標値	3	4	4	4	4	目標値	4	
			実績値	3	0	1			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	0	25					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		令和元年度実施回数からの増加を目指す。			
	本指標の設定理由	PRの状況を数値で計測する。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	スポーツイベント等での 観光PRブース来場者 数	人	目標値	2,000	2,200	2,200	2,200	2,200	目標値	2,200	
			実績値	2,095	-	7,707			達成年度	R5年度	
		%	達成度	105	-	350					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		令和元年度来場者数からの増加を目指す。			
	本指標の設定理由	観光PRの推進を図る指標であるため。									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が難しく、中止となった事業が多かったため、目標に達しなかった。									
	成果指標	アジア最大級のイベントにブース出展したため来場者も多く、目標に達した。									
上記の指標以外に指標では表すことができな い定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	曾根 崇文	担当者名	主事	片坐 美乃	主事	の場 愛子
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	三神 正裕	担当者名	主事	上村 優果		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32232	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-	
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約			
取り組みの柱	観光キャンペーンは大きな集客やPR効果が期待できることから、共同キャンペーンや他都市での大規模イベントへの参画など、PRの機会を有効に活用します。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市補助金等交付規則								
事業の目的(どのような状態にするか)	国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行い、松山市の観光・物産振興と松山市及び愛媛県におけるコンベンションの振興を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	コンベンションの誘致等、行政のみでは対応が難しい事があり、(公財)松山観光コンベンション協会への補助金が必要不可欠と判断したため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	以下の事業を実施する(公財)松山観光コンベンション協会に運営補助金を支出 ①観光・物産振興のために行う事業の企画、実施、支援に関する事。 ②コンベンション振興のために行う事業の企画、実施、支援に関する事。 ③PR商品の販売等に関する事。 ④その他の法人の目的達成に必要な事業								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
			R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				186,145			198,728			192,974
決算額(B)(単位:千円)				115,403			138,486			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		0			0		0		0
	県支出金		0			0		0		0
	市債		0			0		0		0
	その他		0			0		0		0
一般財源		115,403			138,486		138,486		192,974	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					補助金:138,486千円			補助金:192,974千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			70,742			60,242			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 松山の観光PR事業(台湾) 松山の物産と観光展(札幌市) コンベンション誘致、支援、懇談会の開催 松山マドンナ大使の派遣等 									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			<ul style="list-style-type: none"> ●松山の観光PR事業(台湾) ・新型コロナウイルス感染症の影響により渡航することが難しい状況のなか、パンフレット等を送付し、現地のイベントで配布してもらうなどの対応を取った。 ●BEX「松山⇄台湾」新規就航に伴う誘客促進事業 ・仙台での観光キャンペーンに取り組み、松山の魅力のPRに努めた。 			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		コンベンション誘致活動や松山の観光PR展を通じて松山市の観光客の誘客に貢献し、ひいては、松山市の地域経済の活性化に寄与している。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの集客が見込まれるイベント等が軒並み中止となり、多くの事業を実施することができない状況であるため、従来行ってきた事業の実施方法について、見直しが求められている(WEBの活用等)。					環境変化,障害,課題等 取り組む改善策		(公財)松山観光コンベンション協会と連携し、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、対策を行いながら、事業に取り組む。特に、開催中止を決定したコンベンション主催者へ適切なフォローアップを行う。		
R4年度の目標	(公財)松山観光コンベンション協会と連携し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、地域経済活性化に努める。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> ●観光・物産振興事業 ・松山マドンナ大使の派遣活動を通じて観光PRや観光客誘致を行うほか、観光案内所で多言語での観光案内、物産PRに取り組む。 ●コンベンション事業 ・都市間競争に負けないために効果的な情報収集及び誘致活動を行う。 ●国際交流事業 ・台湾・台北市との交流を深めるとともに海外からの誘客交流事業を行う。 ※新型コロナウイルス感染症の状況によって、事業内容をオンラインを活用したものに切り替えていく方針		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①海外への誘致セールス等訪問件数	件	目標値	10	10	10	10	10	目標値	10	
			実績値	9	0	0	0	0	達成年度	—	
		%	達成度	90	0	0	0	0			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		海外との交流及びびンバウンド誘致に繋げるために設定。			
	本指標の設定理由	外国人誘客を目指すうえで、重視する活動であるため。									
	②コンベンション誘致セールス活動件数	件	目標値	240	250	200	220	230	目標値	230	
			実績値	184	121	70			達成年度	R5年度	
		%	達成度	77	48	35					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		「コンベンションビューロー支援事業」で観光庁と協議し設定。			
	本指標の設定理由	コンベンション客数を増やすうえで、重視する活動であるため。									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①外国人観光客数	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	R4年度	
		%	達成度	74	13	2					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第6次松山市総合計画で設定した目標値。			
	本指標の設定理由	事業の目的としている指標であるため。									
	②コンベンション助成金の交付件数	億円	目標値	-	-	-	25	35	目標値	35	
			実績値	33	0	4			達成年度	R5	
		%	達成度	-	-	-					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		新型コロナウイルス感染症が流行する前の令和元年度の数値を上回ることを目標とした。			
	本指標の設定理由	コンベンション助成金は延べ宿泊者数が100人以上のコンベンションを対象に交付しており、営業活動の成果を図るのに適しているため。									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	①新型コロナウイルス感染症の影響で海外への訪問ができなかった。一方で、同協会職員が実際に海外へ訪問しセールスを行うのではなく、現地の企業に委託しコンベンション誘致につなげるための観光PRを行った。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏への誘致営業(訪問)ができなかったため。									
	成果指標	①新型コロナウイルス感染症の影響で国際線が運休になるなど、外国人観光客数の増加は難しい状況になっている。 ②令和2年、3年は新型コロナウイルス感染症の影響でコンベンションの開催が著しく減少した。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	栗栖 洋平	担当者名	主任	大堀 祐輝	主事	渡部 一樹
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢光一	リーダー名	主幹	川崎 義昭	担当者名	主任	大堀 祐輝	主事	田中 翔太郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32233	修学旅行誘致促進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	-	
主な取り組み	情報発信の充実					市長公約			
取り組みの柱	松山ならではの体験プログラムや研修プログラムを開発し、修学旅行など、団体旅行の誘致を推進します。								
総合戦略	3222	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	② 修学旅行の誘致や国内外の観光客増加に向け、松山城や坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの観光文化施設、俳句を中心とした短詩系文学やこぼのちからなどの文化資源、正岡子規や秋山兄弟といった松山ゆかりの人物、三津浜焼きといったご当地グルメなどの地域資源など、あらゆるジャンルの観光資源の更なる有効活用を検討します。また、魅力ある誘客施設や地元が潤う仕組みの体験型観光メニュー、商品企画の研究を行います。		
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)						
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	中部・東海、関東、関西などの都市圏や、近隣の中四国、九州エリアを対象に、学校や旅行会社に対しての営業活動や、修学旅行業界紙、専門誌を活用した情報発信、体験メニューの開発を行い、修学旅行の誘致・定着を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平日の旅行者が低迷しており、新たな団体旅行の確保が必要な中、解決策として大規模な平日の団体旅行者を確保できる修学旅行を誘致することとなった。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:中部・東海、関東、関西、中国、四国、九州などの学校 委託先:株式会社アイムービック(ホームページの更新・維持管理)、松山はいく事務局(修学旅行等対応サポート業務) 事業内容:学校や旅行会社等に対し、戦略的な営業活動を行うことで、修学旅行のさらなる誘致・定着に努める。 1.パンフレットの見直し、ホームページの更新・維持管理 2.戦略的・効果的な誘致活動の展開 3.新たな体験メニューの開発・実施 4.地元関係者が主体となった受入体制の構築 5.交通動線の調整								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	19	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				4,696			9,133		9,625	
決算額(B)(単位:千円)				3,727			8,102			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		1,072			5,494		3,969		
	県支出金		0			0		0		
	市債		0			0		0		
	その他		0			0		0		
	一般財源		2,655			2,608		5,656		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							負担金:5,253 委託料:1,160 印刷製本費:935	負担金:6,263 委託料:1,270 印刷製本費:1,044		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			969			1,031			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1.パンフレット及びホームページの更新・維持管理 2.戦略的・効果的な誘致活動の展開 3.新たな体験メニューの開発・実施 4.地元関係者が主体となった受入体制の構築 5.交通動線の調整									
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルスの影響による修学旅行のマイクロツーリズムのニーズに対応した結果、過去最高の修学旅行誘致を行うことができたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		平日の団体旅行として、ここ近年は、年間約12,000人~約18,000人誘致を行っており、消費額等の経済効果があるため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・道後温泉本館の保存修理事業による影響 ・道後旅館・ホテルの耐震改修・建替えによる影響(宿泊所不足) ・コロナによる修学旅行の延期・中止・傾向の変化 ・学習指導要領等の改訂によるニーズの変化					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		・宿泊施設と連携した受入体制の強化等 ・私立学校や分散型で修学旅行を実施する学校などの小規模校への誘致活動 ・近隣県からの新規修学旅行の誘致・定着化 ・道後温泉本館保存修理事業の正確な情報発信・提供 ・受入施設のコロナ対策情報の発信		
R4年度の目標	・広島市を含む周辺地域と連携した更なる修学旅行の誘致と定着化 ・誰もが安心して安全に参加・周遊できるユニバーサル型修学旅行の実施に向けた取り組み					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1.パンフレット及びホームページの更新・維持管理 2.戦略的・効果的な誘致活動の展開 3.新たな体験メニューの開発・実施 4.地元関係者が主体となった受入体制の整備 5.受入できる宿泊施設の確保 6.新たに松山市を旅行先とする学校の定着化		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	修学教育旅行パンフレット掲載体験メニュー数	メニュー	目標値	65	65	65	65	65	目標値	65	
			実績値	65	65	65	65	65	達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	リニューアルも含め、継続可能かつ需要のある体験メニュー数を掲載する。				
	本指標の設定理由	魅力的な体験メニューを開発・リニューアルし、継続的に提案することで、多様化するニーズへの対応を直接表す指標であるため。									
	修学旅行助成金申請校数	校	目標値		50	55	55	55	目標値	55	
			実績値		77	62			達成年度	R4年度	
		%	達成度		154	113					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	助成金を営業ツールとして活用し、目標値の受入校数150校の概ね3割である55校に助成金を支出することで、受入校数の増加につなげる。				
	本指標の設定理由	松山市への修学旅行に対して助成金を設けることで、修学旅行の誘致・定着化に繋げるため。									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	修学旅行受入校数	校	目標値	64	64	85	150	150	目標値	150	
			実績値	63	140	177			達成年度	R4年度	
		%	達成度	98	219	209					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	魅力的な体験メニューやコース提案、新たな受入先の掘り起こし、リーダーの定着に努めつつ、実績を踏まえた目標とする。				
	本指標の設定理由	修学旅行受入校数の増加を直接示す指標であるため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
		%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	松山ならではの多様な体験メニューをアレンジしながら、各学校のニーズに沿ったメニューやコースの提案した結果、体験メニュー数・修学旅行助成金申請校数ともに目標を達成した。									
	成果指標	松山だからこそできる体験としてテーマと魅力ある体験メニューを提案していることや、修学旅行として人気の高い広島を組み合わせたモデルコースを設定し、中部・東海、関東、関西など出発地別に個別に具体的に提示している。また、新たな旅先として松山を検討してもらう細やかに対応したことが大きく旅行会社等に評価された。さらに、新型コロナウイルスの影響で需要の高まった近隣エリアに対して、既存の助成制度を拡充するなどし、旅行会社や学校への営業を実施したことが成果に繋がった。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	2021年度に修学旅行を受け入れた学校の生徒への実施後アンケートで満足度90%以上を獲得。										

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	栗栖 洋平	担当者名	主任 白形 舞
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	山岡 美明	担当者名	主事 高橋 毅 主事 東村 真実

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32241	広域・観光交流事業(広域観光連携推進協議会事業)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-	
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-	
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約	-		
取り組みの柱	近隣の市町と連携し、それぞれの観光資源を生かした体験型観光など、観光客が一定期間滞在して地域を回遊できるような広域観光の振興に取り組みます。					-		
総合戦略	5411	基本目標	-		取組み	-		
		政策	-			-		
		施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		なし						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市・東温市・砥部町で構成する広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」や砥部町の伝統産業である「砥部焼」、松山市の観光資源を連携させ体験型観光を提供することで観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	今後、誘客を推進させていくためには、観光客のニーズに応じた新たな観光資源の開発や官民一体となった近隣地域との連携を図り、「滞在型」の観光の促進が重要であることから、道後を滞在拠点として、日帰り観光が可能な比較的狭い範囲での連携を模索した。そこで、東温市の「坊っちゃん劇場」や砥部町の「砥部焼」と観光資源の連携を図り、今までなかった文化体験を通し、新たな誘客を図るとともに、観光客を回遊させることにより、滞在日数の増加を目指し、平成19年4月1日、「東温市」「砥部町」と2市1町で、「広域観光連携推進協議会」を設立するに至った。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	負担金交付先:広域観光連携推進協議会(松山市・東温市・砥部町・各市町観光協会の計6団体で構成) 松山市・東温市・砥部町で構成する広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」や砥部町の伝統産業である「砥部焼」、松山市の観光資源を連携させ体験型観光を提供することで観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進している。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 19	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						4,081			2,222		2,223
決算額(B)(単位:千円)						3,710			1,318		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			1,855			0		0
			県支出金			0			0		0
			市債			0			0		0
			その他			0			0		0
			一般財源			1,855			1,318		2,223
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金:1,318千円		普通旅費:367千円 負担金:1,856千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								四国四市観光誘致促進協議会事業、四国観光立県推進愛媛協議会事業、観光交流事業と統合し、名称を「広域・観光交流事業」に変更			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			371			904		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	県内向けプロモーション業務【委託】 愛媛・松山観光インフォメーションセンターPR業務【委託】 広域観光パンフレット「EMOTABI」増刷【7,000部】										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していたイベント出展が中止になったものの、計画変更を行い、効果的な周遊促進PRを実施できた。			
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		2市1町が協力・連携して事業を実施し、広域観光の促進に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じた事業実施を検討する必要がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じた事業実施を検討する。				
R4年度の目標	新型コロナウイルス対策に十分配慮し、イベント出展や周遊促進事業を実施する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・観光PRイベントへの出展や広域観光パンフレット「EMOTABI」の作成を行う。				

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	観光PRイベント出展	回	目標値	5	5	5	3	3	目標値	3	
			実績値	2	0	0			達成年度	R4	
		%	達成度	40	0	0					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		協議会で出展を検討しているイベント数。			
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	松山市観光客推定数 ※年度ではなく年	人	目標値	-	6,150,000	6,150,000	6,150,000	6,150,000	目標値	#####	
			実績値	-	4,140,000	3,956,800			達成年度	R4	
		%	達成度	-	67	64					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年度)を目標として設定する。			
	本指標の設定理由	松山市の観光客数を表す指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により出展を予定していたイベントが中止となった。また同様の理由により代替イベントの計画が困難であった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少することが予想されるが、今後積極的に誘致宣伝活動を行うことで以前の水準まで観光客数を回復させたい。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	栗栖 洋平	担当者名	主任	白形 舞		
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	片山 弘徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32241	広域・観光交流事業(四国四市観光誘致促進協議会事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-		
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約				
取り組みの柱	近隣の市町と連携し、それぞれの観光資源を生かした体験型観光など、観光客が一定期間滞在して地域を回遊できるような広域観光の振興に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	四国県都4市が連携しながら、相互の観光誘致活動を支援するとともに、それぞれの観光資源を活用しつつ、効果的かつ効率的な宣伝活動を展開し、四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興に寄与することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和48年度に「四国観光交流会」として発足、平成20年度に「四国四市観光誘致促進協議会」と名称を改めた。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	四国への観光客誘致促進に繋げるため、下記取り組みを実施する四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 1. 共同観光キャンペーンの実施、2. 観光誘致活動に係る相互支援、3. 観光情報の交換及び発信、4. その他、必要と認める事業								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	昭和	48	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						518			526		528
決算額(B)(単位:千円)						450			450		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0			0		0
	県支出金					0			0		0
	市債					0			0		0
	その他					0			0		0
	一般財源					450			450		528
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								負担金:450千円		負担金:450千円 旅費:78千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								広域観光連携事業(令和3年度から広域・観光交流事業へ名称変更)へ統合			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	68		76		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	四国への観光客誘致促進に繋げるため、下記取り組みを実施する四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 ・SNSやメディア掲載を活用した観光情報の発信										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったが、SNS等による観光情報の発信により効果的な誘客促進を行うことができた。					
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、四国県都4市と連携しながら、効果的かつ効率的な宣伝活動、および観光交流人口の増大や地域の観光産業の振興に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1.より多くの市民に提供(共同型) 2.特定の個人・団体等に提供(個人型) 3.どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の収束状況に合わせたPR方法を検討する必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		観光客誘致により効果的な企画を4市で協議し、実施する。			
R4年度の目標	新型コロナウイルス対策に十分配慮した以下の事業を実施していく。 ・共同観光キャンペーンの実施 ・観光誘致活動に係る相互支援 ・観光情報の交換及び発信 など					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		四国への観光客誘致促進に繋げるため、下記取り組みを実施する四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 ・共同観光キャンペーン(コロナ禍の為中止) ・観光誘致活動に係る相互支援 ・観光情報の交換及び発信 ・その他、必要と認める事業			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555		
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	栗栖 洋平	担当者名	主任	白形 舞	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558		
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	山岡 美明	担当者名	主事	高橋 毅	主事 片山 弘徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32241	広域・観光交流事業(四国観光立県推進愛媛協議会事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-		
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約				
取り組みの柱	近隣の市町と連携し、それぞれの観光資源を生かした体験型観光など、観光客が一定期間滞在して地域を回遊できるような広域観光の振興に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	なし								
事業の目的(どのような状態にするか)	四国四県と民間企業が参画し、県域にとらわれない一体的な観光地づくりや訪日外国客誘致に取り組むことを事業主体とし、四国四県及びJR四国が共同して行う観光キャンペーンと連携しながら、宣伝活動、誘客活動、受入体制整備などの各種事業を実施し、愛媛県のイメージアップと観光客の誘致に努めている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	愛媛県独自の観光推進事業を展開する事業主体として県・市・町及び観光協会をはじめとする民間団体により、昭和63年11月に設立され名称を継続している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	本県への誘客促進を図るため、下記の取り組みを実施する四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 1. 誘客促進事業、2. 宣伝活動事業、3. 受入体制整備事業、4. 観光・PRイベント首都圏開催事業 など								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和 63	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						1,098			1,131		1,190
決算額(B)(単位:千円)						1,098			1,131		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					0			0		0
	県支出金					0			0		0
	市債					0			0		0
	その他					0			0		0
	一般財源					1,098			1,131		1,190
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算								負担金:1,131千円		負担金:1,190千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								広域観光連携事業(令和3年度から広域・観光交流事業へ名称変更)へ統合			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県への誘客促進を図るため、下記の取り組みを実施する四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 1. 誘客促進事業 2. 宣伝活動事業 3. 受入体制整備事業 4. 観光・PRイベント首都圏開催事業 など									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			官民連携のもと、効率的な事業運営を行いながら、事業を展開することができた。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、愛媛県及び松山市のイメージアップと観光客の誘致拡大に努めているため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	団体旅行から個人旅行へ、また物見遊山的な旅行から体験交流型旅行へと主流が移るなど、旅行者ニーズの多様化・高度化が一層進んでおり、各観光地、各関係者においても、変化に対応したきめ細かな取り組みが求められている。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う観光客のニーズの変化に合わせ、個人旅行や体験交流型旅行のメニューを提案しながら観光PRを実施し、本市への観光客誘致に努める。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス対策に十分配慮し、次代のニーズに対応した積極的な事業展開により、愛媛県及び松山市への一層の観光客誘致を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		愛媛県及び松山市への誘客促進を図るため、下記の取り組みを実施する四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出する。 【取り組み内容】 1. 誘客促進事業 2. 宣伝活動事業 3. 受入体制整備事業 4. 観光・PRイベント首都圏開催事業 など (※感染症の状況によって変更する場合があります)		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	栗栖 洋平	担当者名	主任	白形 舞	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558		
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主任 武井 昭憲

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32241	広域・観光交流事業(観光交流事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	-		
施策	観光産業の振興					主な取り組み	-		
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約				
取り組みの柱	近隣の市町と連携し、それぞれの観光資源を生かした体験型観光など、観光客が一定期間滞在して地域を回遊できるような広域観光の振興に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	本市とのゆかりや深いつながりのある都市等との交流を通じ、本市の観光交流人口の拡大を図ることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	本市とゆかりや深い繋がりのある自治体の主催事業に積極的に参加するなどして、自治体間の交流を深め、相互のネットワークを活用しつつ、本市におけるキャンペーンの誘致を図るとともに、当該地域からの観光客や修学教育旅行の誘致に向けた展開を目指し、埼玉県東松山市(名前の縁)や、東京都新宿区(夏目漱石の誕生、終焉の地)等との交流を開始した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	交流事業都市等(東松山市、新宿区、横須賀市、斑鳩町、熊本市、石川県) 本市とのゆかりや深いつながりのある自治体等の主催事業に積極的に参加し交流を深め、相互ネットワークを活用しつつ、修学教育旅行やツアー客等の誘致に向けた展開を目指し、本市の観光交流人口の拡大を図る。 1.交流事業都市等の事業やネットワークを活用した、それぞれの地域におけるプロモーションの展開 2.東松山市、横須賀市、奈良、熊本等からの修学教育旅行やツアー客の誘致実現 3.羽田乗継を活用した地方都市間のより自由な旅の提案								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	各交流都市との連携に向けて、継続して実施する必要があるため。				
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						2,664			2,365		1,987
決算額(B)(単位:千円)						58			30		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0			0		0
	県支出金					0			0		0
	市債					0			0		0
	その他					0			0		0
	一般財源					58			30		1,987
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算								報償費 26千円 使用料及び賃借料 4千円		負担金 800千円 普通旅費 696千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								広域観光連携事業(令和3年度から広域・観光交流事業へ名称変更)へ統合			
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	2,606		2,335		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	協定締結都市である奈良県斑鳩町との協定式の実施 ・俳句大会の後援及び松山市賞の授与										
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により全イベントが中止となり、予定していた事業実施が困難であった。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由		イベント参加に向けて調整していたものの、直前で中止になることも多く、計画変更などの対応が困難であった。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの収束状況に応じた事業実施を検討する必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		東松山市、横須賀市、熊本市とR3年度にイベントが中止となった都市との関係を薄めることなく事業を実施する。また、協定を結んでいる新宿区、横須賀市、斑鳩町との交流を深める。			
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮し、交流都市をプロモーションの視点として、誘客に向けた事業を展開していく。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・東松山、横須賀、奈良、熊本等、交流都市の事業やネットワークを活用した、それぞれの地域におけるプロモーションの展開(コロナ禍のため一部事業を中止) ・羽田乗継を活用した地方都市間のより自由な旅のPR(空港乗継利用促進協議会事業)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	誘客宣伝活動	回	目標値	8	8	7	6	6	目標値	7	
			実績値	3	0	0			達成年度	令和4年度	
		%	達成度	38	0	0					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	交流都市での事業廃止が相次ぐ中、適正な数値を目指す。*				
	本指標の設定理由	現状で交流を見極める									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	観光客推定数	人	目標値	—	6,150,000	6,150,000	6,150,000	6,150,000	目標値	6,150,000	
			実績値	—	4,140,000	3,956,800			達成年度	令和4年度	
		%	達成度	—	67	64					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年度)を目標として設定する。 ※今後は感染症の動向を注視しながら調整していく。				
	本指標の設定理由	松山市の観光客数を表す指標であるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により出演を予定していたイベントが中止となった。また同様の理由により代替イベントの計画が困難であった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少することが予想されるが、今後積極的に誘致宣伝活動を行うことで以前の水準まで観光客数を回復させたい。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	浦田 絵微	主事	東村 真実
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主幹	川崎 義昭	担当者名	主査	大隅 哲平	主事	浦田 絵微

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(伊予鉄坊っちゃん列車運行補助金)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	元氣な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト		
施策	観光産業の振興					市長公約	421	主な取り組み	戦略的観光振興の推進		
主な取り組み	広域観光連携の推進							元氣な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。					取組み	421	瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)					④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。			
政策	②産業の競争力強化(業種別取組)										
施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化										
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り						
根拠法令,条例,個別計画等	無										

事業の目的(どのような状態にするか)	本市の観光振興に資する坊っちゃん列車の運行の安全性確保を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成13年に運行し、平成24年度に減価償却する中、本市の重要な観光資源である坊っちゃん列車の維持や安全運行に協力するため平成28年度から補助金制度を開始した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:伊予鉄道株式会社 事業内容:補助金の交付を行うことにより、本市の観光振興に資する内燃機関車である「坊っちゃん列車」の定期的な整備及び改善を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	24	~	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				4,000			4,000		4,000	
決算額(B)(単位:千円)				0			0		0	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			0			0		0	
一般財源			0			0		0		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							※令和2年度に引き続き、交付申請なく未執行		坊っちゃん列車補助金…4,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			4,000		4,000	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	新型コロナウイルスの影響を受け、減便、運休等の理由により補助金の交付は行わなかった。									
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルスの影響により、運休や1台のみの運行となったことから補助金の申請がなかった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響による観光需要の低下 ※令和3年度も令和2年度に引き続き、減便に加え運休期間有					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		-		
R4年度の目標	本市の観光資源の1つとなっている坊っちゃん列車の安全性の確保を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		本市の観光資源の1つとなっている坊っちゃん列車の安全性の確保を図るため、伊予鉄道株式会社に補助金を交付する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	補助金支出回数	回	目標値	1	1	1	1	1	目標値	1	
			実績値	1	0	0	0	0	達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	0	0	0	0			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		列車を継続的に運行するために必要な補助金の支出回数を設定した。			
	本指標の設定理由	列車を整備し安全運行をするために必要な補助金であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	坊っちゃん列車運行台数	台	目標値	2	2	2	2	2	目標値	2	
			実績値	2	1	1	1	1	達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	50	50	50	50			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		継続的な列車運行の維持を表す指標を設定した。			
	本指標の設定理由	列車の運行の維持を表す指標									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルスの影響による運休によって、列車の整備が不要となったため、補助金の支出を行わなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルスの感染拡大による減便や運休等の対応を行った結果、1台の運行のみとなった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	栗栖 洋平	担当者名	主任	大政 遼平	主事	渡部 一樹
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主幹	担当者名	主任	大政 遼平	主事	渡部 一樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR西日本西遊紀行プロジェクト)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム		笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						421	重点プロジェクト		元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興							主な取り組み		戦略的観光振興の推進
主な取り組み	広域観光連携の推進					市長公約	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事などの影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等	無									
事業の目的(どのような状態にするか)	西日本旅客鉄道株式会社と連携し、東アジア(中国・台湾・香港)の個人旅行者をターゲットに、瀬戸内エリア及び山陰エリアの観光資源・ルートの整備、商品化及び海外向けにプロモーションを行うことで、当該地域の認知度向上を図り、誘客を促進するため。									
背景(どのような経緯で開始したか)	瀬戸内及び山陰地域は、多様な観光資源を有するものの、海外での知名度は必ずしも高くなく、外国人宿泊客数も他エリアと比べると少ない状況にある。そこで、関西から西の、瀬戸内と山陰エリアの観光ルートを整備して認知度を高めるため、当該観光ルートを「西遊紀行」と称し、鉄道事業者と関係自治体等とが連携して行う事業「西遊紀行プロジェクト」が発足した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:西日本旅客鉄道株式会社 事業内容:訪日外国人向けオンライン旅行会社に西遊紀行エリア(瀬戸内及び山陰地域)特集ページを設置し、エリア内の観光コンテンツを販売することで、東アジア(台湾、香港、中国)を対象に誘客を図る。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	27	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				200			240		240	
決算額(B)(単位:千円)				0			233			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			0			0		0	
	市債			0			0		0	
	その他			0			0		0	
	一般財源			0			233		240	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							西遊紀行負担金…233,272円		西遊紀行負担金…240千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							各関係団体で決算額を按分した結果、予算執行残額有			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			200		7	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	観光コンテンツや旅行商品のJTRwebへの登録を行い、訪日外国人に向けた販売体制の整備を行った。 ・訪日外国人向けオンライン旅行会社3社(KLOOK, kkday, Trip.com)での西遊紀行エリア(瀬戸内及び山陰エリア)特集ページの設置を行い、対象エリアの認知度向上に努めた。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス収束後のインバウンド需要回復に向け、訪日外国人向けオンライン旅行会社での情報発信、及び観光コンテンツの販売体制の整備を行うことができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響による観光需要の低下				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、関係団体と連携し、効果的な情報発信を行う。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス収束後のインバウンド需要回復に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			メディアを活用したオンライン記事広告の配信及びアンケート調査の実施		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	プロモーション	回	目標値	2	2	2	3	3	目標値	3	
			実績値	2	0	3			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	0	150					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	新型コロナウイルスの感染状況が大きく影響するものであるため、現状の目標値を維持することとした。				
	本指標の設定理由	プロモーションを行うことで、西遊紀行エリア(瀬戸内及び山陰地域)の認知度向上につながるため。									
	活動指標		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	外国人観光客の入れ込み客数(年;推定値)	人	目標値	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	目標値	310,000	
			実績値	228,100	39,500	4,700			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	74	13	2					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画で設定した目標値。				
	本指標の設定理由	訪日外国人の増加を直接表す指標であるため									
	成果指標		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	訪日外国人向けオンライン旅行会社3社での情報発信を行うことで、西遊紀行エリアの認知度向上に寄与した。									
	成果指標	新型コロナウイルスの感染拡大により、外国人観光客数の増加には至らなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	栗栖 洋平	担当者名	主査	大隅 哲平	主任	大政 遼平
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主幹	担当者名	主任	大政 遼平	主事	渡部 一樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム		笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						421	重点プロジェクト		元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興							主な取り組み		戦略的観光振興の推進
主な取り組み	広域観光連携の推進					市長公約	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります			
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等		無								

事業の目的(どのような状態にするか)	広島圏域の自治体や、鉄道・船舶事業者が連携して、広島地域及び松山地域の資源を生かしつつ、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、広島地域と松山・愛媛を中核とした瀬戸内海及びその周辺を周遊する新しいツーリズムを創造するとともに、旅行市場への定着へ向けた戦略的なプロモーションを展開するなど広域的な観光産業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的としている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	上記目的を達成するため、平成24年6月に、広島圏域(広島市・呉市・廿日市市)の自治体や鉄道(JR四国、JR西日本)・船舶会社(瀬戸内海汽船、石崎汽船)と「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:瀬戸内・松山ツーリズム推進会議 事業内容:瀬戸内・松山ツーリズム推進会議へ負担金を支出し、観光誘客促進を実施する ・旅行会社向けの旅行商品造成の拡充 ・広島圏域の自治体や交通事業者と連携した国内向けプロモーション ・広島圏域の自治体と連携した修学旅行の誘致活動								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	
									当初	
						R2年度		R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)						40,000		33,000		28,200
決算額(B)(単位:千円)						40,000		33,000		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			15,716		15,707		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			24,284		17,293		28,200		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金…33,000千円		負担金…28,200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		0		0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・旅行会社を対象とした観光商品説明会や視察ツアーの開催 ・旅行商品造成助成金、修学旅行助成金などの支出 ・近県向けキャンペーン及びプロモーション事業 ・雑誌広告、駅や港などの交通拠点への広告掲出の実施									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルスの感染が拡大する中、事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り実施することができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響による観光需要の低下					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、関係自治体や交通事業者と連携し、効果的なプロモーションを実施することで、対象地域の交流人口の増加に繋げる。		
R4年度の目標	新型コロナウイルスの収束状況を見据えて、多くの旅行商品の造成につなげる他、連携自治体や事業者の強みを活かした事業を展開し、観光誘客につなげる。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・旅行会社向けの商品説明会の開催や助成金を活用した旅行商品造成促進活動 ・関係自治体や交通事業者と連携した国内向けプロモーションの実施 ・修学旅行誘致活動 等		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	旅行商品造成助成金 交付申請件数	件	目標値	20	20	20	20	20	目標値	20	
			実績値	32	34	21			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	170	115					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の 設定の考え方	現状の目標値を維持することとした。			
		本指標の設定理由	本事業の目標としているため								
			目標値						目標値		
	実績値							達成年度			
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値							達成年度			
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	観光客推定数	人	目標値	—	6,150,000	6,150,000	6,150,000	6,150,000	目標値	#####	
			実績値	—	4,140,400	3,956,800			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	—	69	64					
		指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年度)を目標として 設定する。 ※今後は感染症の動向を注視しながら調整していく。			
		本指標の設定理由	観光客数の増加を直接表す指標であるため								
			目標値						目標値		
	実績値							達成年度			
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の 設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値							達成年度			
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルスの感染拡大により助成金の申請件数は減少したが、目標値は維持することができた。									
	成果指標	新型コロナウイルスの感染拡大により、大きく落ち込んだ。									
上記の指標以外に指標では表すことができな い定性的な成果がある場合,その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	栗栖 洋平	担当者名	主査 大隅 哲平 主任 大政 遼平
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	川崎 義昭	担当者名	主査 大隅 哲平 主任 大政 遼平

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金除く)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト		
施策	観光産業の振興						主な取り組み	戦略的観光振興の推進		
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約	421	元気な産業を応援し、成長する松山をつくり出す			
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。			
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等		無								

事業の目的(どのような状態にするか)	観光戦略である「瀬戸内・松山構想」を実現するため、松山市・広島市・呉市・廿日市市・石崎汽船・瀬戸内海汽船・JR四国・JR西日本で「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立し、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、瀬戸内を周遊する新しいツーリズムを創造するとともに、旅行市場への定着に向けたプロモーションを展開する。また、大都市圏の旅行市場に対して、松山着地商品の造成・販売及び旅行会社による旅行商品の造成・販売を促進し、誘客に繋げるとともに、瀬戸内・松山ツーリズムを展開することにより、広域的な観光産業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	「瀬戸内海」に視点をあてた旅行商品の造成などが十分に展開されていないため、航路のパッケージ化など、船旅の利便性を向上させるとともに、新幹線と航路を組み合わせた格安きっぷなど、新たなツーリズムの創造に取り組む必要があったため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	①旅行会社による松山着の旅行商品造成を促進するため、愛媛県観光物産協会へ松山旅行商品化等事業業務委託料を支出。 ②空港利用者に松山の観光施設を紹介するため、伊予鉄総合企画及び松山建設社へ松山空港看板の広告料を支出。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						20,397	14,930		12,500		
決算額(B)(単位:千円)						15,646	11,624				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			4,785			3,168		0		
	県支出金			0			0		0		
	市債			0			0		0		
	その他			144			189		0		
	一般財源			10,717			8,267		12,500		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料:6,337千円 広告料:4,439千円 その他費目:848千円		委託料:7,500千円 広告料:3,137千円 その他費目:1,863千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	4,751	3,306			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	旅行商品の新規開発・販売促進、着地商品の管理・運営 ・松山市を中心に観光施設等を紹介する広告を松山空港案内所に掲出 ・雑誌広告の発刊											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			計画通りの事業を進めることができ、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた対応ができたものと考えらる。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響による観光需要の低下						環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、関係自治体や交通事業者と連携し、事業実施を行うことで、対象地域の交流人口の増加に繋げる。			
R4年度の目標	新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極めながら、関係機関と連携し、瀬戸内ならではのおもてなしを向上していくような事業の周知や、内容の見直しに努める。						R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・四国アフターDCを見据えた着地整備 ・「瀬戸内・松山構想」を実現するための国内プロモーションの実施			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	プロモーション(空港看板・雑誌広告発刊等)	回	目標値	5	4	4	4	4	目標値	4	
			実績値	5	4	3			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	100	75					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		現状の目標値を維持することとした。			
	本指標の設定理由	本事業の目標としているため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	旅行商品販売実績	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	目標値	6,000	
			実績値	5,859	3,654	1,525			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	97	61	25					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年度)を目標として設定する。 ※今後は感染症の同行を注視しながら調整していく。			
	本指標の設定理由	旅行商品造成事業の効果を図る上で適しているため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	広告や看板掲出など様々なプロモーションにより、目標を達成した。									
	成果指標	新型コロナウイルスの影響により目標値は達成できなかったが、愛媛県観光物産協会と連携した旅行商品開発や既存商品のブラッシュアップを行い、誘客促進につなげた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558	
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事 浦田 絵微
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主幹	川崎 義昭	担当者名	主事 渡部 一樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (実施コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(しまなみサイクルトレイン利用促進会議負 担金)			事業性質	1-1:自治事務(実施 規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔 プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト
施策	観光産業の振興						主な取り組み	戦略的観光振興の推進
主な取り組み	広域観光連携の推進				市長公約	421	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマと した広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を 進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。	
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)		取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、 新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これ までに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMO との連携も視野に入れるなど、瀬 戸内・松山への更なる誘客を促進します。		
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)					
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	無							

事業の目的 (どのような状態にするか)	誰もが安全かつ快適に自転車に親しめる環境の充実と、自転車を核とした観光振興を図ることを目的に、JR予讃線(松山駅〜今治駅間・伊予西条駅〜波止浜駅間)において、自転車をそのま ま列車に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」を運行するため。								
背景 (どのような経緯で開始した か)	JR四国と沿線上の関係自治体との連携事業として、自転車を核とした観光振興に取り組みほか、自転車を使うことで電車だけでは行くことができない土地にも足を運ぶことが可能なことから、観 光産業の活性化に効果的なものであると判断し、平成30年度より負担金を支出することとした。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	負担金交付先:しまなみサイクルトレイン利用促進協議会 実施内容:愛媛県をはじめとした協議会を組織し、効果的なプロモーションを行うことで、観光振興につなげる。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						100		100		100
決算額(B)(単位:千円)						100		100		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			100		100		100
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							負担金…100千円		負担金…100千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・運行チラシの作成及び窓口への設置								
主な取り組み内容の 達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪 かった点など			新型コロナウイルスの影響により、春期・秋期ともに当初の計画通り運行することはできなかったが、チラシの 作成を行い、窓口への設置を行うことで、広報活動に努めることができた。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握 している環境の変化 障害,課題となっている 事項	令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、春期・秋期ともに一部 運行のみの実施となったため、年間利用者数が減少している。					環境変化,障害,課題 等解決のため,R4年度 で取り組む改善策		新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、関係団体と連携し効果的情報発信を行 う。	
R4年度の目標	新型コロナウイルスの収束を見据え、低下していた観光需要の回復を図り、増加傾 向にあったサイクルトレイン利用者数の維持に努める。					R4年度の 主な取り組み内容 (予定含む)		・令和4年度から開始する混乗実験にかかる広報活動 等	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	春期・秋期の広告チラシの作成	回	目標値	2	2	2	2	2	目標値	2	
			実績値	2	2	2	2	達成年度	令和5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	春期と秋期に1回ずつ運行情報を発信することが効果的であるため。なお、令和4年度以降は、混乗実験の結果に伴い、情報発信の方法等を検討する。				
	本指標の設定理由	利用者数維持のため運行情報の発信が必要である。									
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	サイクルトレイン利用者数	人	目標値	350	400	400	400	400	目標値	400	
			実績値	389	219	180			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	111	55	45					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	これまでの実績を踏まえた数値とする。				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標であるため									
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	春期・秋期の運行チラシの作成により効果的に松山の情報を発信できたと考える。									
	成果指標	令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、春期・秋期ともに一部運行のみの実施となったため、年間利用者数が減少した。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	栗栖 洋平	担当者名	主任	大政 遼平		
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主幹	川崎 義昭	担当者名	主査	大隅 哲平	主任	大政 遼平

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト	
施策	観光産業の振興							主な取り組み	戦略的観光振興の推進	
主な取り組み	広域観光連携の推進					市長公約	421	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります		
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。							瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事などの影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。		
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。			
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)							
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等		無								

事業の目的(どのような状態にするか)	JR四国と連携協定を締結し、「瀬戸内・松山構想」の実現に加え、持続可能な「観光未来都市まつやま」の推進を目指して、松山市の観光発展と交流人口の一層の拡大を目指すため。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成21年のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送をきっかけに協定を締結し、瀬戸内・松山周遊ルートの定着に向けた特別切符の発売や、交通広告を活用したプロモーションを通して、観光誘客を図っている。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	JR四国に負担金を支出し、以下の連携事業を実施。 ・「瀬戸内・松山構想」と「観光未来都市まつやま」を推進するための国内外プロモーション ・観光列車「伊予灘ものがたり」を活用した特別ツアーの開催									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	R3 予算措置時期		当初	
									R2年度	R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)						3,000		3,000			5,200	
決算額(B)(単位:千円)						3,000		3,000				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳						国支出金		1,095		1,500		2,600
						県支出金		0		0		0
						市債		0		0		0
						その他		0		0		0
						一般財源		1,905		1,500		2,600
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							JR四国負担金…3,000千円		JR四国負担金…3,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	「伊予灘ものがたり」を活用した特別ツアーの開催 ・観光列車で巡る四国周遊ツアーでの松山城野外ディナーの開催 ・「伊予灘ものがたり」の乗客へのまつやま農林水産物ブランドを活用したメニューの提供										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			JRグループによる大型送客キャンペーン「四国デスティネーションキャンペーン」の開催に合わせて、協定ならではの事業を実施し、観光需要の下支えを図ることができた。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	「伊予灘ものがたり」の利用者は、関西・中四国地区が中心で、現在九州地区の利用者が少ない状況であり、立地的に九州地区からの利用促進を行う必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		九州の旅行会社への旅行商品造成意欲を向上させる事業を展開する。			
R4年度の目標	「伊予灘ものがたり」のリニューアルに合わせて、高付加価値のツアー・キャンペーンを企画・実施するとともに、九州の旅行会社へ松山の旅行商品の造成をJR四国と連携して働きかける。					R4年度の主な取組み内容(予定含む)		・九州の旅行会社を対象とした視察ツアー ・俳句を題材としたツアー ・既存の観光素材の高付加価値化支援 ・観光列車を活用した地産地消推進キャンペーン			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	JR四国との連携プロモーション	回	目標値	14	14	14	14	14	目標値	14	
			実績値	14	16	17			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	114	121					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	回数のみこだわらず、より効果的なプロモーションをJR四国と連携して実施するため、現状維持とした。			
		本指標の設定理由	主な活動内容がJR四国と連携したプロモーションのため。								
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	松山・広島割引きつぶの販売数 ※実績値は年単位	枚	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	目標値	3,000	
			実績値	3,500	1,705	1,730			達成年度	R5年度	
		%	達成度	116	57	58					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	現状の目標値を維持することとした。			
		本指標の設定理由	本事業の目標としているため								
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
	%		達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
	実績値								達成年度		
%	達成度										
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	「伊予灘ものがたり」を活用したプロモーションにより目標を達成した。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標の販売数に届かなかったが、JR四国との連携を強化し、より効果的なプロモーションを検討し次年度への足掛かりとした。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	栗栖 洋平	担当者名	主任	大政 遼平	主任	大堀 祐輝
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	瀬戸内・松山観光担当	連絡先	948-6555				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主幹	川崎 義昭	担当者名	主任	大政 遼平	主任	大堀 祐輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	126	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	元気な産業とやりがい十分な仕事がつくる「成長するまちづくり」プロジェクト	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	戦略的観光振興の推進	
主な取り組み	広域観光連携の推進					市長公約	421	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	多島美を誇る瀬戸内海を挟んで対岸にある広島地域との連携を強化し、「瀬戸内」をテーマとした広島・松山回遊型の新たな観光商品開発など、「瀬戸内・松山」構想を推進します。						瀬戸内・松山構想や道後温泉本館保存修理工事中の影響緩和策など、戦略的な観光振興を進めます。また、クルーズ船の誘致や台湾との交流促進など、インバウンド対策を強化します。		
総合戦略	3224	基本目標	③魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)			取組み	④ 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心として創造・定着させてきた新たな瀬戸内海でのツーリズムに、新たに、国内及び国外の観光客の動向を分析したうえで、機動的・効果的にターゲットを絞り込むほか、これまでに培った他自治体や民間企業との連携を更に深めるとともに、各DMOとの連携も視野に入れるなど、瀬戸内・松山への更なる誘客を促進します。		
		政策	②産業の競争力強化(業種別取組)						
		施策	②戦略的観光振興による域内経済活性化						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	無								

事業の目的(どのような状態にするか)	瀬戸内の中心都市である岡山市、高松市、広島市、松山市の瀬戸内4県都市が、連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目的としている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するため、平成27年度に当該委員会を設立した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	瀬戸内4県都市長会事業実行委員会へ負担金を支出し、以下の事業を実施。 ・「絶景・体験・美食」等をテーマとした360度動画の制作 ・首都圏等での半球ドームシアターの上映								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						1,000			1,000		1,000
決算額(B)(単位:千円)						1,000			1,000		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				500			0			0
	県支出金				0			0			0
	市債				0			0			0
	その他				0			0			0
	一般財源				500			1,000			1,000
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金…1,000千円				負担金…1,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				0				0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「絶景・体験・美食」等をテーマとした動画コンテンツの制作 ・大阪エリアでの観光PRイベントの実施										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定していた首都圏での半球ドームシアターの上映は中止となったが、感染が一定落ち着いた12月に大阪エリアで観光PRイベントを実施し、観光需要の下支えを図ることができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		魅力ある観光地づくりに向けた貢献						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	制作した動画コンテンツを最大限活用するための手法を検討する必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		関西などの都市圏で行う観光PRイベントで動画コンテンツの視聴コーナーを設置し、4市への来訪意欲を高め、さらなる誘客促進を図る。			
R4年度の目標	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外渡航が制限され、国内旅行の需要が増加していることを鑑み、瀬戸内の豊富な観光資源を活かして、国内観光客の獲得を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・JR大阪駅・博多駅での観光PRイベントの実施 ・SNSを活用した情報発信			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	4市連携プロモーション	回	目標値	2	2	2	2	2	目標値	2	
			実績値	2	2	2	2	達成年度	R5年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の 設定の考え方	回数だけでなく、より効果的な手法を4市と連携して取り組むため、現状維持とした。				
	本指標の設定理由	主な活動内容が4市と連携したプロモーションのため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	観光客推定数	人	目標値	—	6,150,000	6,150,000	6,150,000	6,150,000	目標値	#####	
			実績値	—	4,140,400	3,956,800			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	—	69	65					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響前の数値(令和元年度)を目標として設定する。 ※今後は感染症の動向を注視しながら調整していく。				
	本指標の設定理由	観光客数の増加を直接表す指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	国内向けのプロモーションの実施により、目標を達成した。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、大きく落ち込んだ。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	片山 弘徳
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	東村 真実	主事	片山 弘徳

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	39999	観光総務事務事業(にきたつの路日曜市開催事業)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他						重点プロジェクト	-		
施策	その他						主な取り組み	-		
主な取り組み	その他					市長公約				
取り組みの柱	その他									
総合戦略	2211	基本目標	②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)			取組み	①ウェブサイトやSNS、フリーペーパー、パンフレットなどの様々な媒体やテレビ・雑誌などのメディアを活用し、松山の魅力や情報を効果的に発信します。			
		政策	②移住の促進							
		施策	①都市イメージの向上							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										

事業の目的(どのような状態にするか)	古くから観光客や市民に愛され続けている道後温泉に新たな魅力づくりとして「にきたつの路」で朝市を月1回開催し、道後地区の活性化を図ることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年7月から道後温泉の新たな魅力づくりのため実施。									
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	負担金交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会 毎月、第4日曜日に「道後にきたつの路」にて、道後の新たな魅力づくりの場を提供することを目的として、路上にて地元で採れた新鮮野菜や、手作りの弁当などを観光客に販売									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3 予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)							540		540		540
決算額(B)(単位:千円)							540		540		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0			0		0
	県支出金					0			0		0
	市債					0			0		0
	その他					0			0		0
	一般財源					540			540		540
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金:540千円		負担金:540千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						観光総務事務事業へ統合					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				0		0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	毎月第4日曜日に「道後にきたつの路」で朝市を実施 上記を行う交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会に負担金を支出										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため,感染者が多発している時期は休止とした。感染状況が比較的落ち着いている時期は感染症対策を講じた上で事業を適切に行った。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		道後の魅力を高める存在として貢献している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の拡大状況により,朝市を中止せざるを得ない場合がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため,消毒液やマスク等の使用を徹底する。			
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症対策にも十分注意を払いながら,道後の交流人口の拡大に向け朝市を継続して開催する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		毎月第4日曜日に「道後にきたつの路」で朝市を実施。上記事業を実施する道後にきたつの路日曜朝市実行委員会に負担金を支出。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	朝市出店店舗(テント)数	張	目標値	200	200	200	200	200	目標値	200	
			実績値	200	95	66			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	100	48	33					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の実績から設定。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全12回中5回の実施となったため、達成度が50%を下回った。令和4年度以降は観光需要回復を見越し、当初の目標値である200を設定した。				
	本指標の設定理由	イベントの規模及び地域の活性化を示す数値であるため。									
	活動指標		目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	にきたつの路日曜朝市来場者数	人	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	目標値	22,000	
			実績値	15,929	8,688	6,754			達成年度	令和5年度	
		%	達成度	72	39	31					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の実績から設定。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全12回中5回の実施となったため、達成度が40%を下回った。令和4年度以降は観光需要回復を見越し、当初の目標値である22,000を設定した。				
	本指標の設定理由	事業の成果を直接的に表す指標であるため。									
	成果指標		目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが全12回中5回の実施となり、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが全12回中5回の実施となり、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	曾根 崇文	担当者名	主事	片坐 美乃	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	三神 正裕	担当者名	主事	上村 優果	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	39999	観光総務事務事業(JR松山駅観光案内所業務)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約	-				
取り組みの柱	その他					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	JR松山駅観光案内所は陸の玄関口であるJR松山駅構内に設置しており、観光客の利便性の向上を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	JR松山駅は陸の玄関口として通勤・通学の他、観光客も多く利用することから、同施設内に観光案内所を設置することで観光客の利便性向上に繋げるため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	JR松山駅観光案内所の光熱水料の支払・案内所の使用料の支払 観光客の窓口として観光案内及び宿泊案内(松山観光コンベンション協会委託) 観光案内所は、JR松山駅構内にあり、JRの施設貸付の条件として市が直接借り受けが必要であることから市が賃貸借契約を結んでいる。また、同施設内の電気代についても松山市が負担している。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	昭和	43	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						257			257		257
決算額(B)(単位:千円)						232			231		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳		国支出金				0			0		0
		県支出金				0			0		0
		市債				0			0		0
		その他				0			0		0
		一般財源				232			231		257
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算							使用料及び賃借料:188千円 光熱水費:43千円		使用料及び賃借料:188千円 光熱水費:69千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							観光総務事務事業へ統合				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			25					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市内の観光案内、宿泊案内を実施するJR松山駅の観光案内所の土地等使用料の支払を支出した。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		当初の予定どおり事業を実施できたため				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		陸の玄関口の案内所として引き続き、重要な位置づけのため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし									
R4年度の目標	引き続き、観光案内等を行い、観光客の利便性の向上を目指す。 JR松山駅観光案内所を維持・継続していく。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		JR松山駅観光案内所を設け、観光案内等を実施する。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556	
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	担当者名	主事	片坐 美乃
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	担当者名	主事	五藤 菜月

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	39999	観光総務事務事業(愛媛県観光物産協会運営事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約				
取り組みの柱	その他								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的 (どのような状態にするか)	愛媛県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて国民の健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促すとともに、県産品の紹介宣伝、販路拡大、品質改善等を行うことにより、国民の生活、文化及び経済の向上発展、国際親睦並びに愛媛県産業の振興と県民福祉の向上に寄与することを目的とする。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	愛媛県観光物産協会は愛媛県の観光客誘致促進、観光物産・観光振興などの中核的機関として位置づけられているため								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	交付先：(一社)愛媛県観光物産協会 松山市他全19市町及び観光協会、物産協会、商工会議所等が会員となり負担金を支出 それに基づき、愛媛県観光物産協会では、内外の観光客の誘致、観光物産、観光文化の振興、観光振興のためのイベント等の実施を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	令和	3	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						445		445			445
決算額(B)(単位:千円)						445		445			445
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			0
	県支出金			0		0		0			0
	市債			0		0		0			0
	その他			0		0		0			0
	一般財源			445		445		445			445
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金:445千円		負担金:445千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	県内外観光客の誘致促進、観光物産、観光文化の振興、観光振興のためのイベント実施、観光地の美化、観光案内施設の整備等観光地の環境整備をする愛媛県観光物産協会に負担金を支出										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			当初の予定どおり事業を実施できたため					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		愛媛県全域の観光客誘致に広く貢献しているため						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標	愛媛県観光物産協会の観光振興等のための事業に参画するため,引き続き,負担金の支出と連携を行っていく。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		観光客の誘致、観光物産、観光文化の振興、観光振興のためのイベント等を実施する愛媛県観光物産協会に負担金を支出			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556	
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リダー名	副主幹	担当者名	主事	片坐 美乃
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6556	
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リダー名	主査	担当者名	主事	五藤 菜月

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	39999	観光総務事務事業(日本観光振興協会運営事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約					
取り組みの柱	その他									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	国への政策提言・広報啓発、観光地域づくり基盤・受入れ態勢整備促進、人材育成(研修開催、インターンシップの支援等)等									
背景(どのような経緯で開始したか)	日本観光振興協会は、観光に関する中枢機関として魅力ある観光地域づくり、広域観光ルートの整備、観光交流の活性化等各種の事業を行っており、松山市の地域経済及び観光産業の発展、国際親善等にもつながると判断したため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	負担金交付先:日本観光振興協会 愛媛県内に訪れていただける観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等 会員は全国約700の観光関係者により構成されており、観光交流活性化(訪日外国人受入支援等)、観光情報収集・提供システム整備等を行っている。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	昭和	39	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						324			324		324
決算額(B)(単位:千円)						324			324		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0			0
	県支出金				0			0			0
	市債				0			0			0
	その他				0			0			0
	一般財源				324			324			324
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金 324千円		負担金 324千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	国への政策提言・広報啓発、観光地域づくり基盤・受入れ態勢整備促進、人材育成(研修開催、インターンシップの支援等)等を行う日本観光振興協会に負担金を支出									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り事業が執行されたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		地域経済及び観光産業の発展並びに国民の生活及び文化の向上に寄与するとともに、国際親善に資することを目的とする。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし		
R4年度の目標	四国ブロック事業として関係団体と協力し、事業を実施する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		国への政策提言・広報啓発、観光地域づくり基盤・受入れ態勢整備促進、人材育成(研修開催、インターンシップの支援等)等を行う日本観光振興協会に負担金を支出		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光誘客担当	連絡先	948-6558			
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	副主幹	山岡 美明	担当者名	主事	片山 弘徳	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	39999	松山市鹿島観光事業特別会計繰出金				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市鹿島観光事業特別会計の歳出には渡船事業の収入を充てているが、それだけでは賄うことができないことから、一般会計から繰り入れを行っている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年度に北条市と合併し、渡船事業を引き継いだため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市鹿島観光事業特別会計の不足分を一般会計から繰り出す。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	17	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費	項	観光費		目	観光総務費	R3予算措置時期	当初
						R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						21,599			25,100		23,900
決算額(B)(単位:千円)						17,987			20,213		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0		0	
	県支出金				0			0		0	
	市債				0			0		0	
	その他				0			0		0	
一般財源				17,987			20,213		23,900		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						繰入金:20,213千円			繰入金:23,900千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		3,612	4,887		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	特別会計の赤字額を一般会計から繰り出すことにより、特別会計の安定した財政運営に寄与する。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		特別会計の安定した財政運営に寄与した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		渡船の安定した運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。		
R4年度の目標	特別会計の安定した財政運営を継続していくこと。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		特別会計の安定した財政運営を継続していく。		

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	青野 寛子	主事	山内 翼
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887			
	部長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	垂水 洋	主事	丹下 遥香

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	42311	(公財)松山国際交流協会運営補助事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-			
施策	国際化の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	国際交流の促進				市長公約	-				
取り組みの柱	文化・経済・教育・スポーツなどの多様な国際交流の機会を提供するとともに、民間団体やNPOなどの活動を支援し、国際交流に関する事業や活動、人材育成を推進します。					-				
総合戦略	4621	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	①日本語教室の開催やボランティアの養成など、外国人市民の生活を支援するとともに、多様な交流機会を創出することで、相互理解を促進し、外国人も地域住民として活躍できる共生社会の実現に向けて取り組みます。			
		政策	⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進							
		施策	②多文化共生の推進							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		松山市補助金等交付規則								
事業の目的(どのような状態にするか)	(公財)松山国際交流協会は、市民や在住外国人が広く参加できる事業を実施し、在住外国人の地域への溶け込みを図るとともに、国際交流に貢献できる人材の育成や、その活用に向けたコーディネートなど、地域の国際交流の拠点として実践的な取り組みを展開している。当該協会に補助金を交付し運営資金を確保することで安定的な事業運営を図ることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	(公財)松山国際交流協会は、基本財産10億円の運用益で各種国際交流事業を実施していたが、近年の金利の大幅な低下に伴い利息収入が減少し、当該協会の事業運営等に支障をきたす状況に至っていたため、補助金の交付を開始した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:(公財)松山国際交流協会 事業内容:(公財)松山国際交流協会へ補助金を支出。 市民レベルでの国際交流の推進に向け、地域や個人に根ざした国際交流事業や多文化共生に向けての諸事業を実施している。 ①国際体験創造事業 ②共生支援事業 ③基盤整備事業 ④もてなしの風土醸成事業 主な事業として、中学生の姉妹・友好都市への派遣、また、地球人まつりや国際交流サロンなどを通じて、国際交流を体験できるイベントを開催しているほか、日本語教室などを通じて在住外国人の支援などを行っている。									
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		・「まつやま中学生海外派遣事業」一人あたりの負担金(R元年:米195,000円、独164,000円) ・「語学講座受講料」一人あたりの3期(年6回・7回)受講料(3,000円・3,500円) ・「交流イベント」については、内容によって千円以内の雑費を参加者が負担する場合あり。					
始期・終期(年度)	平成	6	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					61,647			90,274			86,479
決算額(B)(単位:千円)					46,557			49,353			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0				0
	県支出金				0		0				0
	市債				0		0				0
	その他				0		0				0
	一般財源				46,557		49,353				86,479
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金補助及び交付金 49,353千円				負担金補助及び交付金 86,479千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		15,090		40,921			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未来にはばたけ！まつやま中学生オンライン留学！（まつやま中学生海外派遣事業の代替） ・地球人まつりフォトコンテストの開催 ・台北市×松山市 大学生インターネット俳句教室の開催 ・外国語としての日本語教室 ・外国語観光ガイド講座 ・国際交流サロン(オンライン・対面のハイブリッド) 											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により従来通りの往来交流は困難であったが、オンラインを活用する等コロナ禍でも可能な事業を実施した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の交流は困難であったが、交流イベントや語学講座などを通して、地域での国際交流の拠点としての役割を果たしている。							
事業の公共性	必要性		3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来や、従来どおりのイベント開催が難しい。オンライン開催を試みているが、参加世代や人数に限られるなどの課題がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		・国内のイベントや、語学講座等については新型コロナウイルス感染症の状況により、R3年度と同様にオンラインでの事業実施も検討する。 ・海外との往来を伴う事業の実施については国内や渡航先の感染状況を見ながら検討する。					
R4年度の目標	地域の国際交流の拠点として、地域の国際化に向けた取り組みを展開する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・第38回まつやま中学生海外派遣事業で市内中学生を米独各16人、韓国10人派遣予定 ・地球人まつりを愛媛県国際交流協会と合同開催					

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	中学生チャレンジプロジェクト登録者数	人	目標値	170	170	170	170	170	目標値	170	
			実績値	156	0	0	0	0	達成年度	R5年度	
			% 達成度	92	0	0	0	0			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	平成29年度以降の最高値を目標とする。				
	本指標の設定理由	青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成を目的としている指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	中学生チャレンジプロジェクト参加者数	人	目標値	600	600	600	600	600	目標値	600	
			実績値	590	0	0	0	0	達成年度	R5年度	
			% 達成度	98	0	0	0	0			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	チャレンジプロジェクト事業数等を考慮して目標値を設定。				
	本指標の設定理由	青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成を目的としている指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施することができなかったため、目標に達しなかった。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施することができなかったため、目標に達しなかった。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	田邊 浩司	リダー名	副主幹	担当者名	副主幹	青野 寛子	主事	山内 翼	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	国際交流担当	連絡先	948-6887				
	部等長名	家串 正治	課等長名	窪田 勝彦	リダー名	主幹	担当者名	副主幹	垂水 洋	主査	青野 寛子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42312	国際交流推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む					重点プロジェクト	-		
施策	国際化の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	国際交流の促進				市長公約				
取り組みの柱	姉妹・友好都市や友好交流都市をはじめ、諸外国との都市間交流を推進し、国際化を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	姉妹・友好都市との交流を中心に国際交流の進展を図り、国際性豊かな人づくりを推進する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和56年のアメリカ・サクラメント市との姉妹都市提携をはじめとして、平成元年にドイツ・フライブルク市と姉妹都市提携を、平成16年に韓国・平澤市と友好都市提携を、平成26年に台湾・台北市と友好交流協定を締結するなど、国際交流を推進している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:姉妹・友好都市を中心とした海外の都市 事業内容:姉妹・友好都市との交流促進を図るため、姉妹・友好都市や民間の交流親善団体との調整を行っている。また、代表団の派遣や会議への参加、スポーツ交流などを通じて、都市間交流を促進している。								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等	民間の交流親善団体との連携を図っている。(サクラメント松山姉妹都市協会、松山フライブルク会、松山・平澤友好協会)				
始期・終期(年度)	平成	6	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費	R3 予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						10,233		14,939		6,898
決算額(B)(単位:千円)						2,350		2,047		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			2,350		2,047		6,898
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料 861千円 筆耕翻訳料 367千円 通信運搬費 312千円	普通旅費 3,022千円 報償費 1,973千円 委託料 632千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			7,883		12,892		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・サクラメント市寄贈電話ボックスの改修、再活用 ・台北市大学生海外派遣事業(台北市×松山市 大学生インターネット俳句教室の開催)									
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹・友好都市との往来ができなかったが、オンラインを活用する等コロナ禍でも可能な事業を実施した。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹・友好都市との往来はできなかったが、オンライン等を活用した交流事業を通じて、国際交流の進展に寄与している。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来が難しい。 ・海外との往来を伴う事業の実施については、国内や渡航先の感染状況を見ながら、オンラインでの事業実施も検討する。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が難しいが、渡航が可能となった際に早急に対応できるよう、関係各所との連絡・調整を進める。	
R4年度の目標	姉妹・友好都市との交流を中心に国際交流の進展を図り、国際性豊かな人づくりを推進する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・サクラメント市姉妹都市提携40周年記念事業 ・平澤市での平澤港マラソン大会への参加	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	姉妹・友好都市への訪問者数	人	目標値	155	155	155	155	155	目標値	155	
			実績値	82	0	0	0	0	達成年度	R5年度	
		%	達成度	52	0	0	0	0			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		平成25年度以降の最高値を目標とする。			
	本指標の設定理由	姉妹都市・友好都市との交流の度合いを測る指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	姉妹・友好都市からの来松者数	人	目標値	190	190	190	190	190	目標値	190	
			実績値	95	3	4			達成年度	R5年度	
		%	達成度	50	2	0					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		チャレンジプロジェクト事業数等を考慮して目標値を設定。			
	本指標の設定理由	青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成を目的としている指標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が難しかったため未達成。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が難しかったため未達成。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合,その内容											

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	森本 智恵	リーダー名	主幹	岡本 徹也	担当者名	主事	江原 晶彦	主査	富岡 有紀子
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当グループ名	観光政策担当	連絡先	948-6557				
	部等長名	家串 正治	課等長名	中矢 光一	リーダー名	主査	富岡 有紀子	担当者名	主任	土居 幹也		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	44111	松山城復興建造物等調査・改修事業					事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む						重点プロジェクト	-		
施策	文化遺産の継承						主な取り組み	-		
主な取り組み	文化財の保存・活用					市長公約				
取り組みの柱	市のみならず国・県の指定文化財について、所有者の保存修理に対する技術的・財政的支援などを行い、その保護に努めるとともに、できる限り広く活用することで、より幅広い層に関心を広げていき、市民の文化財に対する理解を深めます。									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	地方公営企業法、松山城天守閣条例									
事業の目的(どのような状態にするか)	松山城内の重要文化財以外の建造物の傷み具合を調査しながら改修を行う。									
背景(どのような経緯で開始したか)	1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。重要文化財以外の重要建造物も景観や維持管理上、改修が必要のため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	対象:松山城の建造物(重要文化財以外)。事業内容:平成20年度より指定管理者制度を導入し、復興建造物の維持管理を行っているが、大規模な改修は、本事業から松山市が直接実施している。令和3年度は松山城異櫓・異櫓西塀外部改修工事ほか7件について、有限会社山下英建設ほか7者に工事請負費を支出。									
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			天守入場料 大人520円ほか(条例)				
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費		目	松山城管理費		R3予算措置時期	当初	繰越
				項	目		目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				95,577		42,549		91,527			
決算額(B)(単位:千円)				86,170		15,965					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			10,000		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			76,170		15,965		91,527			
一般財源			0		0		0				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:15,466千円		工事請負費:91,527千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						令和3年度から令和4年度へ繰越:26,527千円		前年度繰越額:26,527千円			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		9,407		26,584			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山城復興建造物等の調査・改修を実施。令和3年度は松山城異櫓・異櫓西塀外部改修工事を実施。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおりに事業が実施できたため。					
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		松山城を適正に管理し、観光事業の発展をはじめとする地域の振興に寄与していることから、既存観光資源を有効活用し、地域の魅力・活力があふれるまちの実現に貢献している。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし			
R4年度の目標	指定管理者と連携して施設の日常点検に努め、将来的な施設の修繕計画策定につなげる。予算計上している工事を効率的に実施する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			松山城良門・同東統櫓外部改修工事			